

NICS SYLLABUS

講義要項：2018 年（春）

（2017 年春実績シラバス）

<http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/>



VIA VERITAS VITA

長崎外国語大学
国際交流センター事務室

作成:2017 年 11 月 10 日

NICS 科目名一覧(2017 年春)(B:春学期開講科目)

日本語科目

科目名	担当者 (2017 年春)	単位	ページ
日本語 5 B (口頭表現)	宮崎 聡子 (みやざき さとこ)	1	1
日本語 5 B (文章表現)	小谷 裕子 (こたに ゆうこ)	1	3
日本語 5 B (読解【漢字圏対象】)	河津 基 (かわつ もとい)	1	5
日本語 5 B (読解【非漢字圏対象】)	宮崎 聖乃 (みやざき きよの)	1	7
日本語 5 B (聴解)	宮瀬 美紀 (みやせ みき)	1	9
日本語 6 B (口頭表現)	中村 稔行 (なかむら としゆき)	1	11
日本語 6 B (文章表現)	小谷 裕子 (こたに ゆうこ)	1	13
日本語 6 B (読解)	宮崎 聡子 (みやざき さとこ)	1	15
日本語 6 B (聴解)	田島 紀子 (たじま のりこ)	1	17
日本語 7 B (口頭表現)	川崎 加奈子 (かわさき かなこ)	1	19
日本語 7 B (文章表現)	宮崎 聡子 (みやざき さとこ)	1	21
日本語 7 B (読解)	貞松 明子 (さだまつ はるこ)	1	23
日本語 7 B (聴解)	大谷 鉄平 (おおたに てっぺい)	1	25
応用日本語 I (落語)	川崎 加奈子 (かわさき かなこ)	1	27
応用日本語 II (論文読解)	宮崎 聡子 (みやざき さとこ)	1	29
応用日本語 III (古典日本語文法)	松本 真輔 (まつもと しんすけ)	1	31
応用日本語 IV (時事日本語)	安田 真由美 (やすだ まゆみ)	1	33
応用日本語 V (論文作成)	新居田 純野 (にいだ すみの)	1	35
応用日本語 VI (ビジネス日本語)	大谷 鉄平 (おおたに てっぺい)	1	37
応用日本語 VII	中村 稔行 (なかむら としゆき)	1	39
応用日本語 VIII (日本の近・現代小説)	宮崎 聖乃 (みやざき きよの)	1	41
日中翻訳演習 1 B	楊 暎安 (よう ぎょうあん)	1	43
日中翻訳演習 2 B	趙 紅林 (ちょう こうりん)	1	45
日韓翻訳演習 B	金 有善 (きむ ゆそん)	1	47
資格試験日本語 2 B	田島 紀子 (たじま のりこ)	1	49
資格試験日本語 3 B	河津 基 (かわつ もとい)	1	51
漢字語彙 4	クラス 2 (非漢字圏) 宮崎 聡子 (みやざき さとこ)	1	53
	クラス 3 (漢字圏) 大谷 鉄平 (おおたに てっぺい)	1	57
ビジネス日本語 B	大谷 鉄平 (おおたに てっぺい)	1	59
講座日本事情 1 B	堀川 瑛司 (ほりかわ えいじ)	2	61
講座日本事情 2 B	大谷 鉄平 (おおたに てっぺい)	2	63
アクティブ日本事情 B	宮崎 聖乃 (みやざき きよの)	2	65

日本研究科目

科目名	担当者(2017 年春)	単位	ページ
日本の文化 B	宮崎 賢太郎 (みやざき けんたろう)	2	67
日本の文学 B	松本 真輔 (まつもと しんすけ)	2	69
日本の社会 B	石川 昭仁 (いしかわ あきひと)	2	71
長崎と世界 B	本田 貞勝 (ほんだ さだかつ)	2	73
日本のビジネス B	西村 宣彦 (にしむら のぶひこ)	2	75
自由課題研究 B	①松本 真輔 (まつもと しんすけ)	2	77
	②野田 雄史 (のだ たけし)		
	③小鳥居 伸介 (ことりい しんすけ)		
実習・日本の伝統文化 1 ＜書道・茶道・将棋＞	出口 すゞ美 (でぐち すずみ) 高橋 富美子 (たかはし ふみこ) 富田 高嗣 (とみた たかつぐ)	1	83
実習・日本の伝統文化 2 ＜華道・着付・かるた＞	白井 恭子 (しらい きょうこ) 藤間 弥寿幸 (ふじま やすゆき) 佐々木 美沙 (ささき みさ)	1	85
実習・日本の武道 ＜合気道・剣道・相撲講義＞	富永 和美 (とみなが かずみ) 鎗木 幸次郎 (かぶらぎ こうじろう) Tiedemann, Mark	1	87

科目名 Course title	日本語 5 B (口頭表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聡子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
		○	○	◎

履修要件 Prerequisites	ブレイスメントテストでブレイスされた短期留学生。
科目規定 Course Description	習熟度別に口頭表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	あるトピックについて、グループディスカッションを行い、ディスカッションの内容を踏まえて、自分の考えをまとめたエッセイを作成する。作成したエッセイは、クラス内で発表を行う。発表者は自己評価をし、聞いている人はコメントシートを書く。発音のトレーニングも適宜行う。期末試験は行わず、宿題（エッセイ等）・発表・ディスカッション参加度で評価する。
授業の目標 Learning Goals	C: ディスカッションの内容を踏まえて、自分の考えをまとめたエッセイを作成することができる。 D: グループワークやペアワークで協調して作業を進めることができる。 E: 日常会話レベル以上の内容について、自分の意見や考えを述べることができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、アイスブレイキング（自己紹介等）	最初の授業までにシラバスをよく読んでくること(1時間)
2	テーマ1 人生、働くことについて① ディスカッション：アルバイトについて	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)
3	テーマ1 人生、働くことについて② スピーチ：アルバイト ディスカッション：ささやかな夢	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間) 発表者は発表準備
4	テーマ1 人生、働くことについて③ スピーチ：ささやかな夢 ディスカッション：肉体労働 or 家族の仕事	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(2時間) 発表者は発表準備
5	テーマ1 人生、働くことについて④ スピーチ：肉体労働 or 家族の仕事 ディスカッション：ホームレス	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(3時間) 発表者は発表準備
6	テーマ1 人生、働くことについて⑤ まとめ スピーチ：ホームレス 映像資料 NHK 「仕事の流儀 夜の東京スペシャル」	スピーチ評価のコメントを読む(1時間)
7	テーマ2 言葉について① ディスカッション：「カワイイ」	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間) 発表者は発表準備
8	テーマ2 言葉について② スピーチ：「カワイイ」 ディスカッション：あいまい表現	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間) 発表者は発表準備
9	テーマ2 言葉について③	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間) 発表者は発表準備
10	テーマ2 言葉について④ スピーチ：あいまい表現 ディスカッション：嫌いな言葉	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間) 発表者は発表準備

11	テーマ2 言葉について⑤まとめ スピーチ：嫌いな言葉 読解 手紙コンテスト入賞作を読む 作文 便せんに日本語で手紙を書いてみる	作文 便せんに日本語で手紙を書く（1時間）
12	テーマ3 文化の狭間で① スピーチ：手紙、SNS ディスカッション：アイヌについて	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間) 発表者は発表準備
13	テーマ3 文化の狭間で② スピーチ：差別、偏見 ディスカッション：少数民族	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間) 発表者は発表準備
14	テーマ3 文化の狭間で③ スピーチ：少数民族	グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間) 発表者は発表準備
15	テーマ3 文化の狭間で④ まとめ スピーチ・作文のフィードバック 自己開示カードゲーム「ungame」	スピーチ評価のコメントを読む(1時間)
評価方法 Grading Policy		配分(%)
試験（中間・期末）		
期末レポートなど		
小テストなど		
宿題など		30
評価方法 Grading Policy		配分(%)
プレゼンテーションなど		40
授業時態度など		10
授業への参加度など		20
その他		

教科書 Textbooks : Materials	適宜資料を配付する。
参考文献等 References	『VOICE FROM JAPAN』くろしお出版 『にほんご音読トレーニング』アスク
履修の留意点 Special Notes	ここに記載したトピックは2016年度のものである。クラス状況に応じて、扱うトピックの内容や順番を変更することがある。また、詳細な評価方法は授業開始後に改めて指示。 関連科目：文章表現・聴解・読解
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー：木曜4限 メールアドレス：smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	日本語 5 B (文章表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	小谷 裕子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 5 にプレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に文章表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	エッセイを書く作業を通して、正しい表記、正確な文法、適切な表現等、日本語の文章を書く力を伸ばす。授業で取り扱う課題の予習、エッセイ作成、発表の準備などの自宅学習を必須とする。エッセイの内容については、グループワークにより意見交換や文章の修正などを行う。
授業の目標 Learning Goals	A：既習未習の文法項目を確実に理解し、段落のある文章の中でそれらを正確に使いこなすことができる B：それぞれのエッセイへのpeer reviewを通して、論理的に考えたり問題を解決したりすることができる E：グループでエッセイを修正する作業およびエッセイの発表と質疑応答等を通して、自分の意見を適切に表現し、他者の意見を正確に理解することができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバスの確認、自己紹介、自己紹介シート記入、グループでエッセイのテーマ決めのディスカッション	原稿用紙の使い方の確認、第1課「助詞の使い方」と第2課「言葉の形の使い分け」の予習 (1時間)
2	助詞の使い分け(で/を、を/に、を/が、は/が)、言葉の形の使い分け(特殊な形容詞、伝聞と推量の「～そう」、接続の形、時間表現等)	400字程度のエッセイ(1)作成 (1時間)
3	エッセイ(1)のpeer review(構成、内容、表現、誤字等のチェック)	エッセイ(1)の修正、発表準備 (1時間)
4	エッセイ(1)の発表、質疑応答、コメントシート記入	第5課「文末表現の調整」と第10課「書き言葉らしさ」の予習 (1時間)
5	文末表現の調整(「～と思う/思っている」、「(の)ではない(だろう)か」、「～のだ/わけだ」、「～からだ/ためだ」の問題)、話し言葉・柔らかい書き言葉・硬い書き言葉の使い分け	600字程度のエッセイ(2)作成 (1時間)
6	エッセイ(2)のpeer review、エッセイ(1)の返却(個人的に評価・解説)	エッセイ(2)の修正、発表準備 (1時間)
7	エッセイ(2)の発表、質疑応答、コメントシート記入	第13課「文の長さを読みやすさ」と第14課「指示詞による文の接続」の予習 (1時間)
8	文の長さを読みやすさ(主語と述語の距離、修飾部、接続関係、同じ表現の繰り返し等)、指示詞による接続(「コ系」「ソ系」「ア系」の使い分け)	600字程度のエッセイ(3)作成 (1時間)
9	エッセイ(3)のpeer review、エッセイ(2)の返却(個人的に評価・解説)	エッセイ(3)の修正、発表準備 (1時間)
10	エッセイ(3)の発表、質疑応答、評価シート記入	エッセイ(3)の修正、発表準備 (1時間)
11	エッセイ(3)の発表、質疑応答、評価シート記入	第17課「レポートの基本的な書き方(意見と事実)」の予習 (1時間)
12	意見と事実、引用と主張を書き分けるための方法と表現	600～800字程度のエッセイ(4)作成 (1時間)

13	エッセイ（４）の peer review、エッセイ（３）の返却	エッセイ(4)の修正、発表準備（1時間）
14	エッセイ（４）の発表、質疑応答、評価シート記入	期末試験に向けての総復習（1時間）
15	まとめと振り返り（既習項目総確認）	まとめと振り返り（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	30
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	10
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他（授業で書いたエッセイ）	20

教科書 Textbooks : Materials	石黒圭・筒井千絵著『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』スリーエーネットワーク、1600円（税別）
参考文献等 References	友松悦子著『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク、1600円（税別） 関連科目：日本語 5 A/B 文章表現・読解・聴解・口頭表現
履修の留意点 Special Notes	クラスの状況に応じて、扱うトピックの内容や順番を変更することがある。 関連科目：日本語 5 A«日本語文章表現II»。本授業で勉強しない教科書の課は日本語 5 Bで勉強します。
連絡先 Contact	メールアドレス：yukoktn@ybb.ne.jp

科目名 Course title	日本語 5 B (読解) 【漢字圏】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	河津 基	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	日本語 5 にブレイスされた短期留学生（漢字圏の学生に限る）
科目規定 Course Description	習熟度別に読解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	テキスト『中級を学ぼう 中級中期』を用い、600字から1000字程度の長さの文章を読むことを通して、読解力の向上を目指す。文章の内容を理解することはもちろん、事実関係や物事の経緯の把握、筆者の意図や主張をつかむ練習をする。そして、読んだ文章に関しては意見交換も行う。また、語彙を増やすために、毎回の授業のはじめに漢字・語彙の小テストを行う。授業の前には、必ず自宅でテキストの音読練習を行い、読めない漢字や分からない言葉の意味を調べてくることを必須とする。
授業の目標 Learning Goals	A: 語彙や表現を増やすことで まとまった長さの文章が読めるようになる B: 事実関係や物事の経緯を正確に理解し、筆者の主張や意図を把握できる E: 文章の内容に関してコメントしたり、意見交換をしたりすることができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	読解教材①「振り向き賃」	語彙と表現の予習・復習（1時間）
2	読解教材①「振り向き賃」	読解シート①（1時間）
3	読解教材①「振り向き賃」	読解シート②（1時間）
4	テキスト第1課文法項目	予習・練習問題（1時間）
5	テキスト第1課文法項目	予習・練習問題（1時間）
6	読解教材②「みんなって何人」	語彙と表現の予習・復習（1時間）
7	読解教材②「みんなって何人」	読解シート（1時間）
8	テキスト第3課文法項目	予習・練習問題（1時間）
9	テキスト第3課文法項目	予習・練習問題（1時間）
10	読解教材③インターネットのニュース	ニュースを探し、語彙を調べる（1時間）
11	読解教材③インターネットのニュース	ニュースを探し、語彙を調べる（1時間）
12	読解教材③インターネットのニュース	ニュースを探し、語彙を調べる（1時間）
13	テキスト第5課文法項目	予習・練習問題（1時間）
14	テキスト第5課文法項目	予習・練習問題（1時間）
15	エッセイ「たった一日ですべてが変わってしまうこともある」／まとめ	読解シート／復習（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	70
期末レポートなど	
小テストなど	10
宿題など	10

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『話す・書くにつながる！日本語読解中級』アルク 『読む力中級』
参考文献等 References	『大学生になるための日本語』
履修の留意点 Special Notes	・教科書を必ず買うこと。 ・分からない言葉を調べられるもの（電子辞書・アプリなど）を用意すること。 ・ノートを必ず持ってくること。 関連科目：その他の日本語 5 Bの科目
連絡先 Contact	電子メール kawatsu@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp オフィスアワー：火曜3限 417号室

科目名 Course title	日本語 5 B (読解) 【非漢字圏】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聖乃	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	日本語 5 にブレイスされた学生 (非漢字圏の学生に限る)
科目規定 Course Description	習熟度別に読解能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	ある程度の長さの文章もていこうなく読めるよう、ポイントを押さえながら読む練習を行う。 さらに、中級レベルの語彙力や文法力をつけ、文章作成能力、及びコミュニケーション力を高める。 漢字の力をつける。
授業の目標 Learning Goals	A: 各課で学んだ知識を深め、自らの言葉で説明したり意見を述べたりすることができる。 B: 各課のテーマについて、その原因や対策について学んだ知識を生かしながら考察することができる。 E: 授業で取り上げられているテーマについて、論理的な議論を行うことができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバス(授業計画、評価方法)の確認 日本語能力試験 N3/N2 レベル程度の読解確認テスト	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)
2	第1課【まなぶ】:文法「~ようになる/~なくなる」「~がる」「~て はいけない」「~ずに...する」及び本文内容確認、漢字テスト	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1 時間)
3	第3課【たべる】:文法「~うちに/は」「~せてあげる/やる」及び 本文内容確認、漢字テスト	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1 時間)
4	第5課【あきれる】:文法「~たばかり」「~てたまらない」「~ようとしない」「~なんて」及び本文内容確認、漢字テスト	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1 時間)
5	第7課【かざる】:文法「~まで」「~によって」「せつかく~」「~こと だ」及び本文内容確認、漢字テスト	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1 時間)
6	第9課【まもる】:文法「~はずだ」「~はずがない」「~として」「~ ば~ほど」及び本文内容確認、漢字テスト	中間試験に向けての準備(1時間)
7	中間試験	次の授業に向けての予習(1 時間)
8	中間試験のフィードバック、エッセイの読み取り「歳を知りたがる 日本人」「あいづち」	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1 時間)
9	第 11課【つながる】:文法「~ざるを得ない」「~さ え」「~にしろ~ にしろ」「~た上で」及び本文内容確認、漢字テスト	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1 時間)
10	第13課【おもいだす】:文法「~まま」「~べき」「~の ことだから」「~をきっかけに」及び本文内容確認、漢字テスト	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1 時間)

11	第15課【ふれあう】:文法「～をはじめ」「さすが」「～わけがない」「～だけに」及び本文内容確認、漢字テスト	次の授業に向けての予習(1 時間)
12	エッセイの読み取り「ファイト」「首を振る生徒」「お茶くみ」	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1 時間)
13	第17課【なおす】:文法「～たきり」「～ようでは」「～一方で」「～わけにはいかない」及び本文内容確認	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1 時間)
14	第 19課【かなえる】:文法「～はともかく」「～さえ...ば」「～ことから」「～ないものか」及び本文内容確認	期末試験に向けて準備(1時間)
15	エッセイの読み取り「女の座り方」「たくあんとおそば」「日本語と英語」	学期の振り返り(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	授業内で配布（教科書購入不要）
参考文献等 References	荒井礼子ほか『テーマ別中級から学ぶ日本語』（三訂版）研究社
履修の留意点 Special Notes	関連科目：日本語 5B/5A 《日本語口頭表現Ⅰ/Ⅱ》 《日本語聴解Ⅰ/Ⅱ》
連絡先 Contact	場所：331研究室 オフィスアワー（及び時間帯）：木曜日4限目（この時間以外はアポにて対応） メールアドレス：miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	日本語 5 B (聴解)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	宮瀬 美紀	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○		○		◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムでレベル5にプレイスされている学生
科目規定 Course Description	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	CDを聞きながらメモをする練習をする。聞いた内容をグループで確認し、討議を行う。宿題で学習した文章を読む練習をすることでニュースに慣れるようにする。
授業の目標 Learning Goals	A : ニュースで使われている語彙や表現を理解し、使えるようになる。 C : 多様なメディアから日本社会で起こっているニュースを把握できる。 E : 授業で扱うトピックに、理解を深めつつその内容について討議できる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、ニュース第1課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
2	ニュース第5課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
3	ニュース第5課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
4	ニュース第7課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
5	ニュース第9課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
6	ニュース第11課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
7	ニュース第13課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する。中間試験の準備 (1時間)
8	中間試験	試験の内容を整理する (1時間)
9	ニュース第15課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
10	ニュース第17課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
11	ニュース第19課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
12	ニュース第21課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
13	ニュース第23課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
14	ニュース第25課	ニュースの原稿を読み、発音を確認する (1時間)
15	復習とまとめ	ニュースの原稿を読み、発音を確認する。期末試験の準備 (1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	50
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	15
授業への参加度など	15
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『中級からはじめるニュースの日本語 聴解40』スリーエーネットワーク
参考文献等 References	授業中に紹介する。
履修の留意点 Special Notes	（１）辞書を毎回持参すること （２）大学生らしい態度で授業に臨むこと 関連科目：日本語 5 その他の科目「日本語口頭表現」「日本語読解」
連絡先 Contact	場所：306研究室 オフィスアワー（および時間帯）：水曜 4 限 メールアドレス：miyase@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	日本語 6 B (口頭表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	中村 稔行	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
		○	○	◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 6 にプレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	授業で扱うトピックについてのディスカッションやディベートを通して、日本語の理解力・表現力を高めるとともに自分の考えを深めていく。
授業の目標 Learning Goals	C: 日本語でのコミュニケーションに積極的に参加できる。 D: 自分の意見や考えを日本語で明確に伝えることができる。 E: 他者の考えを理解することで、自分の考えを深めることができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	シラバスを読んで授業に臨む (1時間)
2	他者紹介	他者紹介の準備 (1時間)
3	課題 1 「私にとって日本語とは」の説明全体とディスカッション	宿題メモ (1時間)
4	「私にとって日本語とは」 全体・グループでディスカッション	宿題メモ (1時間)
5	「私にとって日本語とは」 全体・グループでディスカッション	宿題メモ (1時間)
6	課題 1 スピーチと質疑応答	スピーチ準備 (2時間)
7	課題 2 「私が伝えたいこと」の説明 全体でディスカッション	宿題メモ (1時間)
8	「私が伝えたいこと」 全体・グループでディスカッション	宿題メモ (1時間)
9	「私が伝えたいこと」 全体・グループでディスカッション	宿題メモ (1時間)
10	課題 2 スピーチと質疑応答	スピーチ準備 (2時間)
11	課題 3 ディベートの説明 全体でディスカッション	宿題メモ (1時間)
12	ディベート練習①	ディベートの準備 (1時間)
13	ディベート練習②	ディベートの準備 (1時間)
14	ディベート練習③	ディベートの準備 (1時間)
15	課題 3 ディベート	ディベートの準備 (1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	10

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	50
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他 ふりかえりシート	20

教科書 Textbooks : Materials	授業時にプリントを配布する。
参考文献等 References	授業時に指示する。
履修の留意点 Special Notes	(1)宿題は417研究室前にあるボックスに提出すること (2)やむを得ず欠席する場合は、必ず授業前に報告すること (3)この授業は講義形式ではなく学生主体の活動をベースに行われるため、積極的な参加が求められる (4)プレゼンテーションの評価は、一部ピア評価とする (5)遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす 関連科目；日本語 6 Bの他の科目
連絡先 Contact	417研究室 オフィスアワー：木曜日 4 限 tonakamura@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	日本語 6 B (文章表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	小谷 裕子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 6 にプレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に文章表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする
授業の概要 Contents	エッセイを書く作業を通して、正しい表記、正確な文法、適切な表現等、日本語の文章を書く力を伸ばす。授業で扱う課題の予習、エッセイ作成、発表の準備などの自宅学習を必須とする。エッセイの内容については、グループワークにより意見交換や文章の修正などを行う。
授業の目標 Learning Goals	A：既習未習の文法項目を確実に理解し、段落のある文章の中でそれらを正確に使いこなすことができる B：それぞれのエッセイへの peer review を通して、論理的に考えたり問題を解決したりすることができる E：グループでエッセイを修正する作業およびエッセイの発表と質疑応答等を通して、自分の意見を適切に表現し、他者の意見を正確に理解することができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバスの確認、自己紹介、自己紹介シート記入、グループでエッセイのテーマ決めのディスカッション	原稿用紙の使い方の確認、第1課「助詞の使い方」と第2課「言葉の形の使い分け」の予習 (1時間)
2	助詞の使い分け(で/を、を/に、を/が、は/が)、言葉の形の使い分け(特殊な形容詞、伝聞と推量の「～そう」、接続の形、時間表現等)	400字程度のエッセイ(1)作成 (1時間)
3	エッセイ(1)の peer review (構成、内容、表現、誤字等のチェック)	エッセイ(1)の修正、発表準備 (1時間)
4	エッセイ(1)の発表、質疑応答、コメントシート記入	第5課「文末表現の調整」と第10課「書き言葉らしさ」の予習 (1時間)
5	文末表現の調整(「～と思う/思っている」、「(の)ではない(だろう)か」、「～のだ/わけだ」、「～からだ/ためだ」の問題)、話し言葉・柔らかい書き言葉・硬い書き言葉の使い分け	600字程度のエッセイ(2)作成 (1時間)
6	エッセイ(2)の peer review、エッセイ(1)の返却(個人的に評価・解説)	エッセイ(2)の修正、発表準備 (1時間)
7	エッセイ(2)の発表、質疑応答、コメントシート記入	第13課「文の長さを読みやすさ」と第14課「指示詞による文の接続」の予習 (1時間)
8	文の長さを読みやすさ(主語と述語の距離、修飾部、接続関係、同じ表現の繰り返し等)、指示詞による接続(「コ系」「ソ系」「ア系」の使い分け)	600字程度のエッセイ(3)作成 (1時間)
9	エッセイ(3)の peer review、エッセイ(2)の返却(個人的に評価・解説)	エッセイ(3)の修正、発表準備 (1時間)
10	エッセイ(3)の発表、質疑応答、評価シート記入	エッセイ(3)の修正、発表準備 (1時間)
11	エッセイ(3)の発表、質疑応答、評価シート記入	第17課「レポートの基本的な書き方(意見と事実)」の予習 (1時間)

12	意見と事実、引用と主張を書き分けるための方法と表現	600～800字程度のエッセイ（４）作成（１時間）
13	エッセイ（４）の peer review、エッセイ（３）の返却（個人的に評価、解説）	エッセイ(4)の修正、発表準備（１時間）
14	エッセイ（４）の発表、質疑応答、評価シート記入	期末試験に向けての総復習（１時間）
15	まとめと振り返り（既習項目総確認）	まとめと振り返り（１時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	30
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	10
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他（授業で書いたエッセイ）	20

教科書 Textbooks : Materials	石黒圭・筒井千絵著『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』スリーエーネットワーク、1600円（税別）
参考文献等 References	友松悦子著『小論文への１２のステップ』スリーエーネットワーク、1600円（税別）
履修の留意点 Special Notes	クラスの状態に応じて、扱うトピックの内容や順番を変更することがある。 関連科目：日本語 6 A/B 文章表現・読解・聴解・口頭表現
連絡先 Contact	メールアドレス：yukoktn@ybb.ne.jp

科目名 Course title	日本語 6 B (読解)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聡子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	ブレイズメントテストで日本語 6 にブレイズされた短期留学生
科目規定 Course Description	習熟度別に読解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	2000字程度の長文を読む練習を通して、読解力をつけることを目指す。読解に必要な語彙や表現を増やすために、毎回の授業開始時にクイズを行なう。本文の読みは主に自宅学習とし、教室内では読んだ内容について説明したり、コメントしたりする場とする。
授業の目標 Learning Goals	A: 語彙や表現を増やすことで まとまった長さの文章が正確に速く読めるようになる B: 文章の内容を把握するために必要な情報を正確に把握し、それについて説明したり、自分の考えを述べたりすることができる E: 自分の意見や考えを他人に分かりやすく伝えることができる。また、他人の意見を正確に聞くことができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、教科書の説明	第1課の予習 (2時間)
2	第1課 しる「初めての雪」 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
3	第1課 しる「初めての雪」 語彙テスト/本文読解	文法項目の予習 (1時間)
4	第3課 ならう「そば屋の先生」 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
5	第3課 ならう「そば屋の先生」 語彙テスト/本文読解	文法項目の予習 (1時間)
6	第5課 さばく「裁判員のもやもや」 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
7	第5課 さばく「裁判員のもやもや」 語彙テスト/本文読解	復習テストの準備 (2時間)
8	復習テスト① (1課・3課・5課) まとめ	文法項目の予習 (1時間)
9	第7課 ふせぐ「並ぶ文化」 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
10	第7課 ふせぐ「並ぶ文化」 語彙テスト/本文読解	文法項目の予習 (1時間)
11	第9課 よびかける「一茶の目」 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
12	第9課 よびかける「一茶の目」 語彙テスト/本文読解	文法項目の予習 (1時間)
13	第11課 いかす「もったいない話」 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
14	第11課 いかす「もったいない話」 語彙テスト/本文読解	復習テストの準備 (2時間)
15	復習テスト② (7課・9課・11課) まとめ	総復習 (1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	教科書の改訂が行われたため、授業開始後の教員の指示に従って購入すること。
参考文献等 References	授業中に適宜指示する
履修の留意点 Special Notes	教員の指示に従って必ず教科書を購入すること。 関連科目：日本語 6 文章表現、口頭表現、聴解
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー：木曜 4 限 メールアドレス：smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	日本語 6 B (聴解)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	田島 紀子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○		○		◎

履修要件 Prerequisites	日本語 6 にブレイスされた短期留学生
科目規定 Course Description	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	日本で身近に起きている出来事に対して、インターネットで配信されているニュースや動画、映画を使いながら、日本社会に対する深い理解とより高度な日本語能力を身につける。
授業の目標 Learning Goals	A: ニュースや動画、映画を見て理解するために、必要な語彙や表現を習得し、使用することができる。 C: 多様なメディア（特にインターネット）から必要な情報を選んで、まとめることができる。 E: 授業で扱うトピックについて、理解を深めつつその内容について意見交換ができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバスの確認、授業前アンケート、聞き取り課題についての説明および実践練習	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
2	ニュースの聞き取り基本練習	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
3	ニュースの聞き取り、情報番組「SNS依存症①」内容確認及び意見交換	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
4	ニュースの聞き取り、情報番組「SNS依存症②」内容確認及び意見交換	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
5	確認テスト①	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
6	ニュースの聞き取り、情報番組「遺伝子検査①」内容確認及び意見交換	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
7	ニュースの聞き取り、情報番組「遺伝子検査②」内容確認及び意見交換	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
8	ニュースの聞き取り、情報番組「遺伝子検査③」内容確認及び意見交換	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
9	確認テスト②	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
10	ニュースの聞き取り、情報番組「若者の活字離れ①」内容確認及び意見交換	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
11	ニュースの聞き取り、情報番組「若者の活字離れ②」内容確認及び意見交換	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
12	ニュースの聞き取り、情報番組「若者の活字離れ③」内容確認及び意見交換	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
13	確認テスト③	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
14	ニュースの聞き取り、情報番組「デジタル遺品①」内容確認及び意見交換	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)

15	ニュースの聞き取り、情報番組「デジタル遺品②」内容確認及び意見交換	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
----	-----------------------------------	-------------------------------

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	60
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布
参考文献等 References	特になし
履修の留意点 Special Notes	関連科目：その他の日本語 6 B/A 授業 時事ニュースや関連動画などに関する役立つ情報、授業の諸注意などは、オリエンテーションで詳しく説明する予定。
連絡先 Contact	メールアドレス：cloverdale1027@yahoo.co.jp

科目名 Course title	日本語 7 B (口頭表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	川崎 加奈子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
		○	○	◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 7 にプレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に口頭表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	場面に応じた効果的なコミュニケーションを、相手に対する配慮が日本語にどう現れるかを理論的に考察しながらグループで考える。“正しい日本語”を覚えるのではなく、グループ討議をすることを通してコミュニケーション力そのものの向上を目指す。同時に、学期を通して自分や周囲の発話を観察し分析する姿勢を養う。教材には、話し方の教科書と、生の日本語分析のためのテレビドラマ等の映像を用いる。
授業の目標 Learning Goals	C: リレー発表・質疑応答・ピア評価を通じて、クラス内での責任を全うしより質の高い発表について考え続けることができるようになる D: 発表者への質問とピア評価によって、プレゼンテーション力及びコミュニケーション力をクラス全体で相互に高め合う協働学習の効果を知る E: 自分の社会背景や考えを効果的に伝えるための言語技術及び発表技術を高める

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション ドキュメンタリー番組の視聴	シラバスを読んで授業の目的を知る (1 時間)
2	番組内容についてグループで討議し、まとめる	視聴番組についてレポートを書く (1 時間)
3	ドキュメンタリー番組を視聴し、グループで討議する	時間外にグループで討議する (1 時間)
4	番組内容についてのグループ討論をまとめ、発表する	視聴番組についてレポートを書く (1 時間)
5	ドキュメンタリー番組を視聴し、グループで討議する	時間外にグループで討議する (1 時間)
6	番組内容についてのグループ討論をまとめ、発表する	視聴番組についてレポートを書く (1 時間)
7	ドキュメンタリー番組を視聴し、グループで討議する	時間外にグループで討議する (1 時間)
8	番組内容についてのグループ討論をまとめ、発表する	視聴番組についてレポートを書く (1 時間)
9	ドキュメンタリー番組を視聴し、グループで討議する	時間外にグループで討議する (1 時間)
10	番組内容についてのグループ討論をまとめ、発表する	視聴番組についてレポートを書く (1 時間)
11	ドキュメンタリー番組を視聴し、グループで討議する	時間外にグループで討議する (1 時間)
12	番組内容についてのグループ討論をまとめ、発表する	視聴番組についてレポートを書く (1 時間)
13	ドキュメンタリー番組を視聴し、グループで討議する	時間外にグループで討議する (1 時間)
14	番組内容についてのグループ討論をまとめ、発表する	視聴番組についてレポートを書く (1 時間)
15	討議したことを振り返り、最終発表をする	最終発表の準備 (1 時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	30
授業時態度など	20
授業への参加度など	10
最終発表	20

教科書 Textbooks : Materials	なし
参考文献等 References	授業内で適宜紹介する。
履修の留意点 Special Notes	・プレゼンテーションの評価は、一部ピア評価とする ・授業中の携帯電話は使用不可 ・遅刻 3 回で欠席一回とみなす ・教室内での飲食は厳禁 ・クラス状況によっては、授業スケジュールを変更する可能性がある 関連科目：日本語 7 の文章表現、聴解、読解
連絡先 Contact	場所：研究室302 オフィスアワー（及び時間帯）：水曜 3 限 メールアドレス：○○@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp（「○○」にkawasaki）

科目名 Course title	日本語 7 B (文章表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聡子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	日本語7にプレイスされた、上級レベルの日本語力を持っている学生。
科目規定 Course Description	習熟度別に文章表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	本授業では、高度な日本語の知識に関して学習するとともに、相手に伝わりやすくわかりやすい文章を書くことを目指します。各自がテーマを設定し、そのテーマについて小論文を書いていきます。また本授業では、書くだけでなく、お互いにそれを読み、peer reviewを行うことで、書いている小論文をより洗練させていきます。
授業の目標 Learning Goals	A: 「高度な日本語で文章を書く際の総合的な知識について理解する」ことを目指します。 B: 「各自のテーマについて、理論立ててテーマを追求し、その結果を文章に表現できる」ことを目指します。 E: 「peer reviewを通して、建設的な意見交換を行うためのスキルとコミュニケーション力を身につける」ことを目指します。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、自己紹介作文を書く	Eメール課題 (1時間)
2	Eメールのマナー 「先生にアポイントを取る」	Eメール課題 (1時間)
3	Eメールのマナー 「先生にアポイントを取る」フィー	Eメール課題 (1時間)
4	レポートの基礎 話言葉・書き言葉の違い	授業内容の復習 (1時間)
5	レポートの基礎 引用の方法、参考資料、参考文献の書き方	授業内容の復習 (1時間)
6	レポートの基礎 ジャンルによる書き言葉の使い分け	復習テストの準備 (1時間)
7	レポートの基礎 復習テスト	フィードバックを踏まえ、修正する (2時間)
8	課題1 新聞の投稿記事を読んで/ディスカッション	レポート第1稿を書く (2時間)
9	課題1 フィードバックを踏まえ、清書	清書版を完成させる (1時間)
10	課題2 「若者の自己評価」についての評論を読んで	課題を修正し、完成させる (1時間)
11	課題2 ピアラーニング/フィードバック	フィードバックを踏まえ、修正版を書く (1時間)
12	課第3 NHKクローズアップ現代 「“火花”中国を行く ～又吉直樹が見た“90后”～」を見て感想を書く	レポート第1稿を書く (2時間)
13	レポートの基礎 副詞、文末表現、文頭と文末の一致	授業内容の復習 (1時間)
14	課題4 最終課題に使う新聞記事を読んで選ぶ	レポート第1稿を書く (2時間)
15	課題4 ピア・ラーニング/個人面談	フィードバックを踏まえ、レポートを完成させる (2時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	20
期末レポートなど	40
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	特定のものは使用しない
参考文献等 References	『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ練習』スリーエーネットワーク 『論文作成のための文章力向上プログラム』大阪大学出版会 ほか必要に応じて適宜紹介する
履修の留意点 Special Notes	課題には真摯に取り組んで下さい。レポートに関しては、最終的にネイティブチェックを経て提出してまいります。ネイティブチェックをお願いできる日本語母語話者とのネットワークをあらかじめ構築しておいてください。 関連科目：特になし
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー：木曜 4 限 メールアドレス：smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	日本語 7 B (読解)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	貞松 明子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 7 にブレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	教科書の偶数課を使い、内容を正確に速く理解する練習を行う。そして、その内容について説明したり、自分の意見や考えを述べたりする。新聞記事など生の素材を用いることもある。主に読む作業は自宅学習とし、教室内では、読んできた文章についてのディスカッションを通して、異なる視点からも理解を深める場とする。教科書に掲載されているのは一部分なので、関心がある1冊を選び、通して読んでみる。各自読んだものを持ち寄って、コースの半ばにミニ発表、終わりにビブリオバトル（知的書評合戦）を行う。
授業の目標 Learning Goals	A: 語彙や表現を増やすことで まとまった長さの文章が正確に速く読めるようになる B: 文章の内容を把握するために必要な情報を正確に把握し、それについて説明したり、自分の考えを述べたりすることができる E: 自分の意見や考えを他人に分かりやすく伝えることができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション 新聞を読む①	第1課の予習（1時間）
2	第1課 「途中下車」	第3課の予習（1時間）
3	第3課 「贈るかたちと意味」	第5課の予習（1時間）
4	第5課 「平成おとぎ話」	新聞を読む②の予習（1時間）
5	新聞を読む②	新聞記事の内容について感想を書く（1時間） 第7課の予習（1時間）
6	第7課 「安楽死ということば」	第9課の予習（1時間）
7	第9課 「リーダーシップ論」	第11課の予習（1時間）
8	第11課 「痛いと言わなければ、痛くないのと同じです」	ミニ発表会の準備（1時間）
9	ミニ発表会	第13課の予習（1時間）
10	第13課 「足の表現力」	第15課の予習（1時間）
11	第15課 「自然という書物」	第17課の予習（1時間）
12	第17課 「檸檬」	新聞を読む③の予習（1時間）
13	新聞を読む③	新聞記事の内容について感想を書く（1時間） ビブリオバトルの準備（1時間）
14	ビブリオバトル用レジュメ作成	ビブリオバトルの準備（1時間）
15	ビブリオバトル	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	10

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	70
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『日本文化を読む（上級者向け）』 京都日本語教育センター/アルク ※必ず購入すること
参考文献等 References	授業内で適宜紹介する
履修の留意点 Special Notes	指定された教科書を必ず購入すること 授業の前に必ず予習をしてくること プレゼンテーションの評価は、一部ピア評価とする 関連科目：日本語 7 の文章表現、聴解、口頭表現
連絡先 Contact	haruko.sdmt@gmail.com

科目名 Course title	日本語 7 B (聴解)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	大谷 鉄平	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り 組む力	論理的思考力・問題 解決力	学習に取り組む態度・ 意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的なコミュニケー ション力
○		○		◎

履修要件 Prerequisites	レベル7にプレイスされた短期留学生
科目規定 Course Description	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	日本で身近に起きている出来事に対して、インターネットで配信されているニュースや動画、映画を使いながら、日本社会・文化に対する深い理解とより高度な日本語能力を身につける。
授業の目標 Learning Goals	A: ニュース動画／ドラマ／映画などの教材から社会的・文化的背景を理解し、その内容をまとめることができる。 C: インターネットから興味・関心のあるニュースを選び、正確に内容を要約し、説明することができる。 E: 学生同士や関係者との円滑なコミュニケーションができるようになる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	オリエンテーション時配布の資料の熟読 (1時間)
2	「孤独のグルメ」 Season2 Vol.1の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
3	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 2 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
4	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 3 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
5	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 4 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
6	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 5 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
7	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 6 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
8	前半のまとめ	中間課題作成 (1時間)
9	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 7 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
10	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 8 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)

11	「孤独のグルメ」Season2 Vol. 9 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
12	「孤独のグルメ」Season2 Vol.10 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
13	「孤独のグルメ」Season2 Vol.11 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
14	「孤独のグルメ」Season2 Vol.12 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
15	後半のまとめ	期末課題作成 (1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験 (中間・期末)	
期末レポートなど	50
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	30
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『孤独のグルメ Season2』原作：久住昌之、主演：松重豊
参考文献等 References	授業で適宜紹介する。
履修の留意点 Special Notes	1. 辞書を必ず持ってくること。 2. 全体討議では積極的な発言が求められます。ただ黙っているだけでは、評価は下がります。 関連科目：日本語 7 の文章表現、口頭表現、読解
連絡先 Contact	研究室：417 オフィスアワー：月曜日3限 メールアドレス：otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	応用日本語 I 【落語】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	川崎 加奈子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて、プレイメントテストで日本語8のレベルにプレイされた学生
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、実践的な日本語の運用能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	落語を素材にし、日本語の語彙・表現など言語的な内容を理解すると同時に、噺の背景にある日本社会への知識を養う。また、落語の噺を他者に伝え、演じるための練習を通して、効果的なコミュニケーションについて考察し、実践する。この授業目的のため、クラス活動は講義形式ではなく、落語を見、聞き、考え、練習し、演じるという過程を学生自身が実践するものであり、落語を演じたり、演読したりする際の学生の積極的な参加を必須とする。
授業の目標 Learning Goals	A: 語彙、待遇表現、江戸時代の社会背景など従前の学習になかった知識を広げる B: 作品を論理的に分析し、学習者自身及びコミュニケーションパートナーの理解の不足を補うための方策を検討する思考ができるようになる E: 自分の社会背景や考えを効果的に伝えるための言語技術及び交渉技術が高まる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	シラバスを読んで授業について理解する（1時間）
2	落語「寿限無」の鑑賞&内容分析/語りの稽古①	噺の内容を理解し、語彙・社会背景について理解する（1時間）
3	落語「寿限無」の鑑賞&内容分析/語りの稽古②	紹介された噺のセリフを、人物描写を交えて語るができるようになる（1時間）
4	落語「寿限無」の鑑賞&内容分析/語りの稽古③	紹介された噺のセリフを、人物描写を交えて語るができるようになる（1時間）
5	落語「井戸の茶碗」の鑑賞&内容分析①	噺の内容を理解し、語彙・社会背景について考える（1時間）
6	落語「井戸の茶碗」の鑑賞&内容分析②	噺の内容を理解し、語彙・社会背景について考える（1時間）
7	落語「井戸の茶碗」の鑑賞&内容分析③	噺の内容を理解し、語彙・社会背景について考える（1時間）
8	学生による噺の内容分析・発表・鑑賞①	落語を鑑賞し、内容についての発表を準備する（1時間）
9	学生による噺の内容分析・発表・鑑賞②	落語を鑑賞し、内容についての発表を準備する（1時間）
10	学生による噺の内容分析・発表・鑑賞③	落語を鑑賞し、内容についての発表を準備する（1時間）
11	学生による噺の内容分析・発表・鑑賞④	落語を鑑賞し、内容についての発表を準備する（1時間）
12	学生による噺の内容分析・発表・鑑賞⑤	落語を鑑賞し、内容についての発表を準備する（1時間）
13	学生による噺の内容分析・発表・鑑賞⑥	落語を鑑賞し、内容についての発表を準備する（1時間）
14	学生による噺の内容分析・発表・鑑賞⑦	落語を鑑賞し、内容についての発表を準備する（1時間）
15	学生による噺の内容分析・発表・鑑賞⑧	落語を鑑賞し、内容についての発表を準備する（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	40
授業時態度など	10
授業への参加度など	30
その他	

教科書 Textbooks : Materials	授業内で適宜紹介する
参考文献等 References	『ビジュアルワイド 江戸時代館』小学館、 『おもしろ落語図書館』三遊亭圓窓著 大日本図書、など 関連科目：特になし
履修の留意点 Special Notes	・日本語の教科書に出てくる語彙や言葉遣いとは異なるものが多いので、それら未習語彙に果敢に取り組むつもりで履修すること。 ・授業中の携帯電話は使用不可。 ・遅刻 3 回で欠席一回とみなす。 ・教室内での飲食は厳禁。 ・授業内容は状況に応じて変更することがある。 関連科目；特になし
連絡先 Contact	場所：研究室302 オフィスアワー（及び時間帯）：水曜 3 限 メールアドレス：〇〇@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp（「〇〇」にkawasaki）

科目名 Course title	応用日本語Ⅱ【論文読解】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聡子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	プレースメントテストで日本語8/特急」のレベルにプレースされた学生
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	個人あるいはグループで、それぞれ異なるテーマに取り組む。テーマは主に日本語の仕組みに関する問題である。担当するテーマに関する論文を読み、ハンドアウトを作成し、発表する。発表では全員参加で質疑応答を行う。発表者以外の者は、事前に質問を考えておく。最後に、発表した内容をレポートにまとめ提出する。なお取り上げるテーマについては、受講生と相談の上決定する。
授業の目標 Learning Goals	A: 論文の主張を正しく理解し、まとめることができる B: 取り上げたテーマを発展させ、自分の意見を述べることができる。 E: 質疑応答の時間に積極的に発言し、他人と意見交換をしながら問題の解決案を提示できる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、「二義文」クイズ	配布した論文を読む（1時間）
2	「二義文」クイズ	配布資料を読んでくる（1時間）
3	【講義】日本語のヴァリエーション	読みたい論文のジャンルについて考えてくる。（1時間）
4	【講義】日韓対照の論文を読む／発表する論文を選ぶ	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
5	【講義】レジュメの作り方・発表の仕方 論文「あいづちの表現性」	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
6	【講義】役割語、キャラ語	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
7	【発表1】編集者の日本語	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
8	【発表2】モダリティ	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
9	【発表3】オネエ言葉	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
10	【発表4】日本語学習者の日本語	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
11	【講義】マンガの日本語／日本語コーパス「少納言」の	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
12	【発表1】フィルター	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
13	【発表2】片仮名表記	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
14	【発表3】助数詞	配布した論文を読む、質問を用意する（1～2時間）
15	【発表4】敬語	レポートを作成する。（2時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	30
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	30
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	教科書は使用しない。ハンドアウトと論文を配布する。
参考文献等 References	『新しい日本語学入門』スリ-I-ネットワーク ほか 授業中に適宜紹介する
履修の留意点 Special Notes	上記テーマは、2016年度に扱ったものである。履修者と相談の上、テーマを決定する。 各課題に意欲を持って取り組むこと。 関連科目：言語学I
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー：木曜 4 限 メールアドレス：smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	応用日本語Ⅲ【古典日本語文法】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	松本 真輔	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	日本語能力試験N 1 合格程度の日本語力が必要。
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	現代日本語との共通点、相違点を踏まえながら、古典文学作品を講読する際の足がかりとなる基礎的な文法知識（助動詞・助詞を中心に）の習得を目指します。古典文学作品に親しむと同時に、その背景となる、文化的・社会的な背景についても目を向けます。授業では『百人一首』を素材に学習を進めます。毎時間、前回の授業内容を確認するに設問調査（小試験）を行います。この授業は学生参加が基本ですので、受講者が発言・発表する機会が頻繁にあります。
授業の目標 Learning Goals	A:古典日本語の基礎的な知識を身につける。 B:類推力を養うことで、文脈から記述内容がおおよそ読み取れる。 E:現代日本語に残る古典日本語文法（文語的表現）を把握し、自身の日本語力を豊かなものにする

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバス（授業計画、評価方法）の確認 授業前アンケート。『百人一首』の紹介。	教科書の概要を把握する（1時間）
2	1）古典文法と現代文法の違いを理解する。 2）授業を進める際に使われる文法用語を理解する。	古典語と現代語の仮名遣いの違いを確認する。また、品詞を区別できるようにする。（1時間）
3	日本語の成り立ちについて理解する。	文字としての日本語の成立について説明できるようにする。（1時間）
4	1）動詞の種類を理解する。 2）四段動詞の活用を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、動詞の活用について説明できるようにする。（1時間）
5	上二段・下二段・カ変・サ変動詞を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、動詞の活用について説明できるようにする。（1時間）
6	ナ変・ラ変・上二段・下二段動詞を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、動詞の活用について説明できるようにする。（1時間）
7	形容詞・形容動詞の種類と活用について理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、形容詞の活用について説明できるようにする。（1時間）
8	助動詞とは何かを理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助動詞について説明できるようにする。（1時間）
9	助動詞「ず」「む」を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「ず」「む」について説明できるようにする。（1時間）
10	助動詞「き」「し」を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「き」「し」について説明できるようにする。（1時間）
11	助動詞「けり」「つ」「ぬ」「たり」「り」を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「けり」「つ」「ぬ」「たり」「り」について説明できるようにする。（1時間）
12	助動詞「す」「さす」「なり」を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「す」「さす」「なり」について説明できるようにする。（1時間）

13	1) 助詞の働きと省略を理解する。 2) 係助詞を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助詞について説明できるようにする。(1時間)
14	敬語の種類を理解する。	授業で学んだ教材をもとに、古典文法の敬語について、現代語との違いを念頭において説明できるようにする。(1時間)
15	授業のまとめ。	半年の授業を振り返り、学んだ和歌や文法事項について説明できるようにする。(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験 (中間・期末)	
期末レポートなど	80
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	吉海直人『暗唱百人一首』(永岡書店、2014年)
参考文献等 References	『社会人のためのビジュアルカラー国語百科』(教育研究メディアセンター 請求記号 : 910.2/Ta24)
履修の留意点 Special Notes	新しい知識をどんどん紹介するので、毎回復習は欠かさないように。 関連科目 ; 特になし
連絡先 Contact	場所 : 301 オフィスアワー (及び時間帯) : 水曜 4 限 メールアドレス : matsumoto@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	応用日本語Ⅳ【時事日本語】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	安田 真由美	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	短期留学生で日本語8にプレイスされた学生
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	いま日本で話題になっているニュースや書籍、新聞記事を取り上げ、その内容について理解するとともに、レジュメを作成して他の人に説明する。そしてその内容から気になる個所や問題となる個所について他人とディスカッションを行い、異なる視点からも理解を深める。
授業の目標 Learning Goals	A: 語彙や表現を広げ、ニュースや書籍、新聞記事を速く正確に理解することができる B: 書籍や新聞記事などから、問題となる個所や気になる個所を具体的に指摘することができる E: 問題となる個所や気になる個所について、他の人と討議することができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	NHKおはよう日本(恋愛しない若者たち)	復習、次の読み物の予習（1時間）
2	探求若者ことば（朝日新聞2017年1月15日）	復習、次の読み物の予習（1時間）
3	若者ことば調査発表	復習、次の読み物の予習（1時間）
4	持たない暮らしミニマルライフ	復習、次の読み物の予習
5	レディースデー賛成？反対？	復習、次の読み物の予習
6	ニュース・新聞記事発表1（過労死・2017年5月1日朝日新聞）	復習、次の読み物の予習 発表者は発表の準備（1時間）
7	ニュース・新聞記事発表2：韓国大統領選挙・五月病・読む：君はひとりじゃない（2017年5月28日朝日新聞）	復習、次の読み物の予習 発表者は発表の準備（1時間）
8	ニュース・新聞記事発表3：	復習、次の読み物の予習
9	ニュース・新聞記事発表4：	復習、次の読み物の予習
10	ニュース・新聞記事発表5：	復習、次の読み物の予習
11	ニュース・新聞記事発表6：ヘリコプターペアレント・各国のトイレ事情	復習、次の読み物の予習 発表者は発表の準備（1時間）
12	ニュース・新聞記事発表7：中国版深夜食堂	復習、次の読み物の予習
13	ニュース・新聞記事発表8：人体に残されている5つの進化の証拠	復習、次の読み物の予習 発表者は発表の準備（1時間）
14	ニュース・新聞記事発表9：落語家になるには・ヒアリ	復習、次の読み物の予習（1時間）
15	いまどきの大学生の懐事情（2017年6月26日朝日新聞）	復習（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	20
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	40
授業時態度など	5
授業への参加度など	15
その他	

教科書 Textbooks : Materials	授業開始後指示する
参考文献等 References	授業開始後指示する
履修の留意点 Special Notes	詳細な評価方法は授業開始後に示す。 関連科目：応用日本語 1～VIII
連絡先 Contact	研究室：3 3 9 オフィスアワー：火曜日4限 メールアドレス：yasuda@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	応用日本語Ⅴ【論文作成】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	新居田 純野	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	日本語8クラスの学生
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	各自のテーマに沿った論理的な文章の作成に向けて、準備段階としての論文読解および文章作成能力の実践的な養成を目指す。
授業の目標 Learning Goals	A 自らが修得した情報や知識をもとに授業内での発表討論へと結びつけ、意見を統合することができる。 B 自らが修得した情報や知識を論理的にまとめ、正確な日本語の文章で論理的に表現することができる。 E 論文内容に関する意見提出及び自分の考えを提出して、意見交換ができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	"シラバス（授業計画、評価方法）の確認、授業内容、論文作成スケジュールについて確認。研究テーマを決める際の注意事項について説明。"	"今一番関心のある三つのテーマとその概略について 次回までに考えてくる。また関心のあるテーマに関する論文を一つ探してくる。"(1時間)
2	"各自のテーマ・内容について紹介する。研究内容に即した参考論文となる論文の探し方について解説。(ネット上での検索を中心に：CiNiiの使い方、県内図書館縦断検索など)"	考えた三つのテーマに関する先行研究論文や書籍などの収集をする。(1時間)
3	"論文を書く前にすべきことの再確認。(テーマの重要性) 一般的な論文構成について解説した後に 各自持参した論文をもとに、論文の構成について確認。研究内容によっても様々な論文の書き方があることを再認識してもらう。"	"各自が収集した先行研究の構成等を中心に論文分析をしてくる。(内容、構成、引用文献の書き方、先行研究の表記など)"(1時間)
4	"論文分析(宿題)のチェック。ネット上の検索エンジンを使って関係論文の探し方を個々に指導する。収集した先行研究のリストをおよび概要を作成する。"	"授業内で書く予定である論文のテーマ、概要をまとめる。参考文献の収集を引き続き行う。"(1時間)
5	"各自は書く論文の概要を作成し、確認およびアドバイスを受けたうえで、修正を行なう。"	自分の最終論文のテーマ、問題提起、研究の方法、論文の構成、研究の背景、先行研究のまとめ、予想される結論等の概要を作成する。(1時間)
6	"各自作成の最終論文に関する概要をまとめたものを冊子にして配布。それぞれの論文について、疑問点およびコメントを書く。"	クラスメートから出された疑問点について回答、解説をレポート形式で作成する。(1時間)
7	"コメント・疑問に対する回答、解説をチェック。収集した先行研究の内容をまとめる。アドバイスを受けたのち修正する。"	先行研究のまとめの完成、および研究背景についてまとめる。(1時間)

8	"本論の作成(1) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。"	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。(1時間)
9	"本論の作成(2) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。"	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。(1時間)
10	"本論の作成(3) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。"	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。(1時間)
11	"本論の作成(4) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。"	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。
12	本論が完成したら、「はじめに(序論)」「おわりに(結論/まとめ)」の修正に入る。内容の確認およびアドバイスを受けたうえで、さらなる修正を行なう。	論文の完成版を提出。(1時間)
13	"各自の論文を冊子にして配布。それぞれの完成論文について、評価を行なったうえで、疑問点およびコメントを書く"	クラスメートから出された疑問点について回答、解説をレポート形式で作成する。(1時間)
14	発表のためのレジュメ、PPT、研究計画書を作成のうえ、発表をする。	論文の最終修正をする。(1時間)
15	"講評"	これまでの学習をもとに、さらに論文を発展するための資料集めおよび今後の研究の方向性を考える。(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	
期末レポートなど	60
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	20
授業への参加度など	
その他	

教科書 Textbooks : Materials	配布プリント,生教材
参考文献等 References	授業内で紹介する
履修の留意点 Special Notes	欠席する/した場合は必ず授業前/後に連絡し、次回授業前に研究室に来て課題を受け取って次回の授業で提出すること。 関連科目: その他の応用日本語科目
連絡先 Contact	場所: 307 オフィスアワー(及び時間帯): 火曜日4限 メールアドレス: niida@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	応用日本語VI【ビジネス日本語】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	大谷 鉄平	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	学部、短期ともに最上級クラスにブレイスされた、上級レベルの日本語力を持っている学生。
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	本授業では、履修者のみなさんが選んだビジネス、マーケティング、エコノミクスに関する記事について、 1. 小グループでの発表 2. 全体討議 という流れで、ビジネスに関する知見を広めてゆきます。 【前学期のテーマ（一例）】 「東京オリンピックの経済効果」「アリペイは日本で広まるか」「LGBTに対する企業意識の実態」「聖地巡礼と地方創生」「ドン・キホーテはなぜ安い」「ネコノミクス」「嵐がもたらす経済効果」「きのこたけのご論争」「行動経済学からみたパチンコ」etc.
授業の目標 Learning Goals	A:「プロジェクトのテーマに関する課題について、多面的に分析できるとともに、その解決策を考えることができる」ことを目指します。 B:「学生同士やプロジェクトの外部関係者と協力して活動できるとともに、プロジェクトの進捗を自分たちで管理し、自律的に活動に取り組むことができる」ことを目指します。 E:「学生同士や関係者との円滑なコミュニケーションができるとともに、ビジネスにふさわしいコミュニケーションができるようになる」ことを目指します。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	オリエンテーション時に配布した資料の熟読（1時間）
2	グループワーク （教員による発表デモンストレーション、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
3	グループワーク（第1回目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
4	グループワーク（第1回目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
5	グループワーク（第1回目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
6	グループワーク（第2回目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
7	グループワーク（第2回目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
8	グループワーク（第2回目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
9	前半のまとめ	中間課題作成（1時間）

10	グループワーク（第3巡目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
11	グループワーク（第3巡目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
12	グループワーク（第3巡目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
13	グループワーク（第4巡目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
14	グループワーク（第4巡目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議）	テーマに関する情報収集および復習（1時間）
15	グループワーク（第4巡目） （収集した情報に関するグループ発表、全体討議） 後半のまとめ	期末課題作成（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	40
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	20
授業時態度など	20
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	使いません。
参考文献等 References	活動の必要性に応じて紹介します。また積極的に自分たちで参考文献を探すことを推奨します。
履修の留意点 Special Notes	本授業は学生同士の協力や自律的な取り組みが強く求められます。協力して作業ができない学生や、他の学生に作業を任せて自分は何もしない学生などは授業期間の途中で履修をやめてもらうことがあります。 また、全体討議では積極的な発言が求められます。ただ黙っているだけでは評価は下がります。 関連科目：特になし
連絡先 Contact	研究室：417 オフィスアワー：月曜日3限 メールアドレス：otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	応用日本語Ⅶ	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	中村 稔行	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	日本語Sにプレイスされた学生
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	この授業では和食に関する文献を読み、それについてのディスカッション、グループ発表、レポート作成をする。
授業の目標 Learning Goals	A: 食に関する様々なトピックについて日本語でディスカッションできる。 B: 協働学習の中で、他者の考えを理解し自分の考えを深めることができる。 E: 自他文化をクリティカルに見つめることができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバス（授業の流れ・評価の仕方など）の説明。自己紹介。	シラバスをよく読んでくる。好きな和食についてまとめてくる。（1時間）
2	「世界で一番ちいさな三つ星料理店」第2章について全体ディスカッション。	テキストを読み、わからない箇所を調べてくる。（1時間）
3	テキスト第3章について全体ディスカッション。課題1レポートの説明。	テキストを読み、わからない箇所を調べてくる。（1時間）
4	レポートの下書きをグループで読み合いディスカッション。	レポート下書きを書いて提出。（1時間）
5	レポートの下書きをグループで読み合いディスカッション。	レポート下書きを書いて提出。（1時間）
6	レポートを読み合い相互評価する。	レポートを作成、提出。（1時間）
7	調理実習の説明と打ち合わせ（メニュー・仕事分担・予算等について）	調理実習の準備（1時間）
8	調理実習	調理実習の準備（1時間）
9	テキスト第4章について全体でディスカッション。	テキストを読み、わからない箇所を調べてくる。（1時間）
10	テキスト第5章について全体でディスカッション。	テキストを読み、わからない箇所を調べてくる。（1時間）
11	テキスト第6章について全体でディスカッション。	テキストを読み、わからない箇所を調べてくる。（1時間）
12	「終わりに」について全体でディスカッション。課題2レポートの説明。	テキストを読み、わからない箇所を調べてくる。（1時間）
13	レポートの下書きについてグループディスカッション。	レポート下書きを書いて提出。（1時間）
14	レポートの下書きについてグループディスカッション。	レポート下書きを書いて提出。（1時間）
15	レポートを読み合い相互評価。	レポートを作成、提出。（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	30
小テストなど	15
宿題など	10

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	25
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『世界で一番ちいさな三ツ星レストラン』 『知られざる和食の世界』 新潮新書 『食卓文明論』 中公叢書
参考文献等 References	授業時に指示する。
履修の留意点 Special Notes	(1)宿題は417研究室前にあるボックスに提出すること (2)やむを得ず欠席する場合は、必ず授業前に報告すること (3)この授業は講義形式ではなく学生主体の活動をベースに行われるため、積極的な参加が求められる (4)プレゼンテーションの評価は、一部ピア評価とする (5)遅刻3回で欠席1回とみなす 関連科目：その他の応用日本語科目
連絡先 Contact	417研究室 オフィスアワー：木曜日4限 tonakamura@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	応用日本語Ⅷ【日本の近・現代小説】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聖乃	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	プレースメントテストで日本語8のレベルにプレースされた学生
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	夏目漱石、村上春樹、金城一紀など日本語の近・現代小説とその映像化作品を取り上げ、作品を味わうとともに日本の社会・文化に対する理解を深める。読解ではあらかじめ配布する語彙シートを使って語彙や表現を増やすとともに内容を予測して読み進め、読む前と後にディスカッションを行う。学期中2回のビブリオバトルを行う。この授業を通して、日本の小説がより身近なものになることを期待する。扱う作品は受講生によって変更することがある。
授業の目標 Learning Goals	A: 既習の知識を活かし、小説や映像作品を理解することができる。 B: 社会的・文化的コンテキストを理解し、小説や映像作品を鑑賞・評価することができる。 E: 他者に配慮しつつ、自分の意見や感想、予測を述べるすることができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、教材①小説「夢十夜 第一夜」（夏目漱石）読む前に	教材①語彙シート（前半）の予習(1時間)
2	教材①小説「夢十夜—第一夜」（前半）／ディスカッション	教材①語彙シート（後半）の予習(1時間)
3	教材①小説「夢十夜—第一夜」（後半）／ディスカッション	感想をまとめる(1時間)
4	教材②映画「ユメ十夜 第六夜／第七夜」視聴／ディスカッション	映画「ユメ十夜 第七夜」あらすじ(1時間)
5	教材③小説「4月のある晴れた日に100パーセントの女の子と出会うことについて」（村上春樹「カンガルー日和」より）／ディスカッション	教材③語彙シートの予習(1時間)
6	教材③小説「4月のある晴れた日に100パーセントの女の子と出会うことについて」（村上春樹「カンガルー日和」より）／ディスカッション	教材③語彙シートの予習(1時間)
7	ビブリオバトル	ビブリオバトルの準備（ppt作成）(1時間)
8	教材⑤映画「GO」前半	教材⑤ワークシート(1時間)
9	教材⑤映画「GO」前半	教材⑤ワークシート(1時間)
10	教材⑤映画「GO」後半	教材⑤ワークシート(1時間)
11	教材⑤映画「GO」後半	教材⑤ワークシート(1時間)
12	教材⑥小説「GO」（金城一紀）／教材⑦小説「ユヒ」	教材⑥、⑦語彙シートの予習(1時間)
13	教材⑧小説「死神の精度」第1話前半	教材⑧読解シートの記入（1時間）
14	教材⑧小説「死神の精度」第1後半／教材⑨映画「死神の精度」第1話	教材⑧まとめシートの記入(1時間)
15	ビブリオバトル	ビブリオバトルの準備（ppt作成）(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	40
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	40
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	授業内で配布
参考文献等 References	授業内で紹介
履修の留意点 Special Notes	特になし 関連科目：その他の応用日本語科目
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー： 木曜4限（この時間以外はアポにて対応） メール： miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	日中翻訳演習 1 B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	楊 曉安	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	特に厳しい前提条件は付けません。
科目規定 Course Description	様々なテキストを翻訳することによって、日本語を中国語に翻訳する技術の基礎的能力を養成する。
授業の概要 Contents	本講では、日本語を中国語に翻訳するための基本的な方法と技巧を教授する。すでに学生は日本語を中国語に翻訳する基本的な知識を習得しているが、複雑な句や短文の翻訳についてはさらに進んだ専門的な学習が必要である。そこで、本講では三段階に分けて講義と訓練を進める。第一段階では短文の翻訳の構造を復習し、まず学生に日本語と中国語の基本的な構造上の対応関係を理解させ、最も基本的な文型が比較的流暢に翻訳できるようにする。第二段階では雑誌や新聞のニュースなどの翻訳を通して中国語表現の構造を整理し、比較的複雑ではあるが、やや短めの文章を正確に翻訳することに留意する。第三段階では具体的に代表的な日本の散文、小説を選んで翻訳を進める。この段階では原文の意味の正確な翻訳に心がけ、構文とことばの美しさに留意しつつ、さまざまな翻訳を対比させながら、日本語を中国語に翻訳するための技巧を身につけさせたい。
授業の目標 Learning Goals	(1) 翻訳についての基本的な認識を確立し、中国語と日本語の間での翻訳における特徴を理解すること。 (2) さまざまな文章の翻訳を通じて、翻訳の理論と実践についての基礎を固めること。 A: 中国語と日本語の言語構造の特徴を理解し、翻訳する時の対応法を習得すること。 B: 和文中訳の演習を通して、翻訳のテクニックを身につけること。 E: 翻訳によって、日本の伝統、文化、社会への理解をより一層深めること。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバス（授業計画、評価方法）の確認 翻訳とは 翻訳の難しさ 翻訳の標準	学修内容の復習 宿題：1300字文章の翻訳（1時間）
2	翻訳中における問題点（字面だけを見る推量と解釈 言葉の選ぶミス 肯定・否定の混同、助詞の意味の間違った理解 文型の把握の問題点）	学修内容の復習 宿題：600字文章の翻訳（1時間）
3	翻訳の流れ；原文を分析する（文法形態の分析・構造形態の分析・文体と表現の分析・語の意味の分析） 翻訳（正しい言葉と文型を選ぶ 文の合理的配置）	学修内容の復習 宿題：1200字文章の翻訳（1時間）
4	言葉の翻訳(1)[一般の言葉] コンテキストと語義 多義語（本義と派生義）	学修内容の復習 宿題：1000字文章の翻訳（1時間）
5	言葉の翻訳(2)[熟語、ことわざ] 日中の熟語・ことわざの異同 熟語・ことわざの訳（直訳・意訳・説明を補足する訳）	学修内容の復習 宿題：1000字文章の翻訳（1時間）
6	言葉の翻訳(3)[数詞、助数詞] 日中の助数詞の異同 助数詞の訳（直訳・意訳・省略する訳） 倍数に関する訳 数量と無関連の数量詞の訳	学修内容の復習 宿題：1200字文章の翻訳（1時間）
7	言葉の翻訳(4)[擬音語、擬態語] 日本語の擬音語・擬態語の構成 音声に対する感覚 擬音語・擬態語の文法的役割 擬音語・擬態語の訳	学修内容の復習 宿題：1500字文章の翻訳（1時間）

8	文章の翻訳(1)[ニュースと評論] 三編のニュースと評論(「朝日新聞」より)を翻訳する	宿題:1500字文章の翻訳(1時間)
9	文章の組み立て 日本語文章の構成 日本語文章構造の分析 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題:1200字文章の翻訳(1時間)
10	複文の翻訳(1)[並列構造の複文] 連合複文(並列・連続・累進・選択) 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題:1200字文章の翻訳(1時間)
11	複文の翻訳(2)[修飾構造の複文] 主従複文(因果・逆接・仮定・条件) 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題:1000字文章の翻訳(1時間)
12	複文の翻訳(3)[複雑な複文] 多重複文 複文の短縮形式 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題:1000字文章の翻訳(1時間)
13	文章の翻訳(2)[エッセイ] 井上靖「光陰矢の如し」・加藤秀俊「沈黙の世界」・若山牧水「河豚」	学修内容の復習 宿題:1000字文章の翻訳(1時間)
14	総合復習 学習内容のまとめ 村上春樹『ノルウェイの森』の選訳①	宿題:1000字文章の翻訳(1時間)
15	授業の総括 授業内容の総復習 村上春樹『ノルウェイの森』の選訳②	宿題:1000字文章の翻訳(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	60
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布
参考文献等 References	日中、中日翻訳、通訳に関する本
履修の留意点 Special Notes	辞書は必携。電子辞書でも構いません。 関連科目:自分のレベルの日本語科目
連絡先 Contact	メールアドレス: xiaoan@nagasaki-u.ac.jp

科目名 Course title	日中翻訳演習 2 B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	趙 紅林	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	初中レベルの日本語能力有する中国留学生向けの講義
科目規定 Course Description	様々なテキストを用いて、日本語と中国語を相互に翻訳するより高度な能力を養う。
授業の概要 Contents	日本語を中国語に訳すことを目的とする科目である。最初に簡単な文章を翻訳することから初め、徐々に新聞、雑誌、小説などに、掲載される記事や文章を訳する。
授業の目標 Learning Goals	A：中国語と日本語の言語構造の特徴を理解し、翻訳する時の対応法を習得すること。 B：和文中訳の演習を通して、翻訳のテクニックを身につけること。 C：翻訳によって、日本の伝統、文化、社会への理解を一層深める。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	授業の仕方、課外学習の仕方、授業評価についての説明。授業外学習のグループをわけ	グループ学習の準備など（1時間）
2	翻訳の基準（信、達、雅）、翻訳前の準備について説明、300字くらいの文章を翻訳し、（辞書可）	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
3	先週訳した文章についてよしあしの訳文を例にして説明、	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
4	先週訳した文章についてよしあしの訳文を例にして説明、	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
5	二人の会話文を四人一組で、現場模擬にして通訳演習	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
6	先週訳した文章についてよしあしの訳文を例にして説明、	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
7	先週訳した文章についてよしあしの訳文を例にして説明、	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
8	二人の会話文を四人一組で、現場模擬にして通訳演習	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
9	文を訳すテスト	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
10	先週訳した文章についてよしあしの訳文を例にして説明、	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
11	先週訳した文章についてよしあしの訳文を例にして説明、	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
12	先週訳した文章についてよしあしの訳文を例にして説明、	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
13	先週の続き訳す。	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
14	二人の会話文を四人一組で、現場模擬にして通訳演習	グループ学習で訳した文章を提出（1時間）
15	今まで訳した文章、通訳演習のまとめ、試験について。	試験の準備（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	10
宿題など	10

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布など
参考文献等 References	日中、中日翻訳通訳に関する本
履修の留意点 Special Notes	筆記用具、辞書を必携すること 「応用日本語」などの日本語科目
連絡先 Contact	非常勤控え室 （木・金）12：30から授業前後 hu5jp@hig.bbiq.jp

科目名 Course title	日韓翻訳演習 I B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	金 有善	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○	○		

履修要件 Prerequisites	韓国語能力試験4級以上合格する程度の韓国語能力を有する者。
科目規定 Course Description	様々なテキストを用いて、日本語と韓国語を相互に翻訳するより高度な能力を養う。
授業の概要 Contents	Contents この授業でははじめに韓国語から日本語（あるいは日本語から韓国語）へ翻訳する際の手法、留意点などを概観した後、説明文、観光パンフレット、小説を題材にして、韓国語から日本語（あるいは日本語から韓国語）に翻訳する実践的な練習を行なう。
授業の目標 Learning Goals	A: 日本語力に加えて、翻訳に必要な母語力をレベルアップさせる。 B: 翻訳への基礎知識を分野別にわけて学び、実践的な翻訳演習へ臨む。 C: 自然な翻訳を目指す。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	シラバスをよく読んで授業に臨む（1時間）
2	韓日（日韓）翻訳の手法、留意点	授業の復習。（1時間）
3	説明文の翻訳①（作業）	事前に課す課題をやってくる。（2時間）
4	説明文の翻訳③（完成）	第4回での発表を受けて、各グループで作品を完成させるための準備を行なう。（2時間）
5	説明文の翻訳③（完成）	第4回での発表を受けて、各グループで作品を完成させるための準備を行なう。（2時間）
6	観光パンフレットの翻訳①（作業）	事前に課す課題をやってくる。（2時間）
7	観光パンフレットの翻訳②（発表）	第6回の内容を受けて、発表するための準備をグループで行なう。（4時間）
8	観光パンフレットの翻訳③（完成）	第7回での発表を受けて、各グループで作品を完成させるための準備を行なう。（2時間）
9	小説の翻訳①（作業）	事前に課す課題をやってくる。（2時間）
10	小説の翻訳②（作業）	事前に課す課題をやってくる。（2時間）
11	小説の翻訳③（発表）	第9・10回の内容を受けて、発表するための準備をグループで行なう。（4時間）
12	小説の翻訳④（修正）	第11回の発表を受けて、作品を修正するための準備をグループで行なう。（2時間）
13	小説の翻訳⑤（再発表）	第12回の内容を受けて、再発表するための準備をグループで行なう。（4時間）
14	小説の翻訳⑥（完成）	第13回での再発表を受けて、各グループで作品を完成させるための準備を行なう。（2時間）
15	授業の総括	授業の復習（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	30
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	30
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	特になし。授業中に随時プリントを配布する。
参考文献等 References	授業中に随時紹介する。
履修の留意点 Special Notes	ほぼ毎回の授業で事前にやってくる課題を課すのできちんと準備すること。 授業ではグループワークを行うので、欠席する場合は同じグループのメンバーに迷惑をかけないようにすること。 関連科目：日本語語学科目全般
連絡先 Contact	場所：310 オフィスアワー（及び時間帯）：水曜4限目 メールアドレス： pknusfclove@hotmail.com

科目名 Course title	資格試験日本語 2 B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	田島 紀子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○	○		

履修要件 Prerequisites	クラス分けテストを受け、その指示に従うこと。
科目規定 Course Description	日本語能力試験対策に特化して、文法や表現などを学習する。
授業の概要 Contents	日本語能力試験N2の高得点での合格、N1の受験を目指し、N2文法の復習及びN1レベルの文法の授業を行う。受講者は毎週、自分で問題を解き、疑問点や質問事項を整理して提出しなければならない。授業は毎回、受講者から提出された課題をもとに解説・練習等を行う。
授業の目標 Learning Goals	A: N2、N1レベルの文法・表現を理解し、適切に使うことができる。 B: 未知の文法・表現について、文脈や既知の知識に基づいて、意味を推測したり、使い方を考えたりすることができる。 C: 自らの文法知識を整理し、自律的に学習を進めることができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバス（授業計画・評価方法）の確認、レベルチェック、課題①配布	課題①の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
2	課題①解説、課題②配布	課題②の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
3	課題②解説、課題③配布	課題③の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
4	課題③解説、課題④配布	課題④の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
5	課題④解説、課題⑤配布	課題⑤の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
6	課題⑤解説	中間試験に向けて課題①～④を復習（1時間）
7	中間試験	わからなかった単語、文型を整理し確認（1時間）
8	中間試験のフィードバック、課題⑥配布	課題⑥の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける（1時間）
9	課題⑥解説、課題⑦配布	課題⑦の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける（1時間）
10	課題⑦解説、課題⑧配布	課題⑧の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける（1時間）
11	課題⑧解説	N 2 総復習（1時間）
12	復習プリント①	N 1 総復習（1時間）
13	復習プリント②	N 2・N 1 総復習（1時間）
14	復習プリント③	期末試験に向けて課題⑤～⑧を復習（1時間）
15	期末試験のフィードバック	わからなかった単語、文型を整理し確認（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	15
宿題など	15

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布
参考文献等 References	日本語能力試験N1・N2試験に出る文法と表現（桐原書店）、他授業の中で紹介する。
履修の留意点 Special Notes	関連科目：その他の日本語科目 毎回宿題、および小テストが課される。
連絡先 Contact	メールアドレス：cloverdale1027@yahoo.co.jp

科目名 Course title	資格試験日本語 3 B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	河津 基	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○	○		

履修要件 Prerequisites	プレースメントテストを受講し、その指示に従うこと
科目規定 Course Description	日本語能力検定試験対策に特化して、文法や表現などを学習する。
授業の概要 Contents	今学期の日本語能力試験 N 1 受験に向けて、N 2 レベルの復習と N 1 の準備を行う。受講者は毎週、与えられた課題を解き、疑問点や質問事項を整理して提出しなければならない。授業は受講者から提出された課題をもとに解説・練習等を行う。
授業の目標 Learning Goals	A: N1合格レベルの知識を身につけることができる B: 基礎的な知識を応用させて問題を読み解くことができる C: 目標をもって学習できる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	第0講：学期開始前にプレースメントテストを実施し3つのレベルにクラス分け 第1講：シラバス（授業計画、評価方法）の確認 授業前アンケート 日本語能力試験2000年聴解問題を実施	宿題1を配布。次週までに文法問題に挑戦し、答え合わせをしたのち、調べても分からない部分をマーク、質問も書き込み可。（1時間）
2	母音の無声化について紹介。日本語能力試験2000年の模擬試験を解説。	同上、宿題2 （1時間）
3	宿題1に基づく文法解説	同上、宿題3 （1時間）
4	宿題2に基づく文法解説	同上、宿題4 （1時間）
5	宿題3に基づく文法解説	同上、宿題5 （1時間）
6	宿題4に基づく文法解説	同上、宿題6 （1時間）
7	宿題5に基づく文法解説	同上、宿題7 （1時間）
8	宿題6に基づく文法解説	聞き取りや発音で難しいと感じた言葉をメモして提出する（宿題）（1時間）
9	宿題7に基づく文法解説	日本語能力試験の直前の勉強に取り組む（1時間）
10	日本語能力試験の模擬試験実施	日本語能力試験の直前の勉強に取り組む（1時間）
11	N1級レベルの外来語の書き取り	宿題8を配布。次週までに文法問題に挑戦し、答え合わせをしたのち、調べても分からない部分をマーク、質問も書き込み可。（1時間）
12	英語を語源とする外来語を作る規則	同上、宿題9 （1時間）

13	宿題8に基づく文法解説	総復習（1時間）
14	宿題9に基づく文法解説	総復習（1時間）
15	復習テスト、テスト解説	総復習

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布
参考文献等 References	授業中に指示
履修の留意点 Special Notes	毎回の課題に必ず取り組むこと 関連科目：自分が履修する日本語の授業
連絡先 Contact	電子メール kawatsu@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp オフィスアワー：火曜3限 417号室

科目名 Course title	漢字語彙 4 ②	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聡子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	漢字を500字程度学習したことがある学生。 非漢字圏の留学生対象のクラスです。 This course is recommended for non-kanji countries students who have studied about 500 kanji.
科目規定 Course Description 授業の概要 Contents	漢字および語彙に特化した学習を通して、その運用能力を高めることを目的とする。 Aim to improve practical Japanese ability through focused kanji and vocabulary study 日本語能力試験（JLPT）2 級レベルの漢字をテキストを使って学習します。漢字だけでなく、その漢字を使った語彙も多く取り入れ、漢字・語彙力の向上を目指します。また、生活の中で身の回りにある漢字・語彙を自分で調べ、発表する課題も行います。毎週、復習クイズがあり、セメスターの最後には期末試験を行います。 Students will learn Japanese Language Proficiency Test (JLPT) N2 level kanji at a pace of approximately 35 a week. This course is aimed at improving kanji and vocabulary skills with an emphasis on greatly expanding the range of vocabulary and kanji that students can use effectively. A weekly review quiz will be given in the following week as well as a final exam at the end of semester.
授業の目標 Learning Goals	A: 「日本語能力試験N2レベルの漢字語彙の意味がわかり読めるようになる」ことを目指します。 B: 「学習した漢字語彙を使った文章を読んだり書いたりできるようになる」ことを目指します。 E: 「学習した漢字の使われる文章を読み、その内容について意見交換できるようになる」ことを目指します。 A: Aim to help students master kanji at the Japanese Language Placement Test (JLPT) N2 level. B: Aim to become able to read and understand sentences with the vocabulary and kanji learned during the course. E: Develop an ability to discuss readings that use kanji covered in class

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、レベルチェックテスト Course content summary and pretest	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)
2	立て札・注意書きの漢字の読み、意味確認（1） N o t i c e kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)
3	復習クイズ、立て札・注意書きの漢字の読み、意味確認（2） Quiz on previous week's materials. N o t i c e kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)
4	復習クイズ、建物の中でよく見る漢字の読み、意味確認（1） Quiz on previous week's materials Guid signs in buildings kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)

5	復習クイズ、建物の中でよく見る漢字の読み、意味確認 (2) Quiz on previous week's materials Guid signs in buildings kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習(漢字・語彙)(1時間) Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)
6	復習クイズ、駅でよく見る漢字の読み、意味確認 (1) Quiz on previous week's materials Station kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習(漢字・語彙)(1時間)中間課題の準備 Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class and for mid-term assingment(1 hour)
7	復習クイズ、駅でよく見る漢字の読み、意味確認 (2) Quiz on previous week's materials Station kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習(漢字・語彙)(1時間)中間課題の準備 Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class and for mid-term assignment(1 hour)
8	復習クイズ、乗り物でよく見る漢字の読み、意味確認 (1) Quiz on previous week's materials Transportation kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習(漢字・語彙)(1時間) Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)
9	復習クイズ、乗り物でよく見る漢字の読み、意味確認 (2) Quiz on previous week's materials Transportation kanji: reading and meaning, organizing	次回扱う内容についての予習(漢字・語彙)(1時間) Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)
10	復習クイズ、郵便局・病院で見る漢字の読み、意味確認 (1) Quiz on previous week's materials Post office and Hospital kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習(漢字・語彙)(1時間) Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)
11	復習クイズ、郵便局・病院で見る漢字の読み、意味確認 (2) Quiz on previous week's materials Post office and Hospital kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習(漢字・語彙)(1時間) Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)
12	復習クイズ、現金自動支払機で見る漢字の読み、意味確認 Quiz on previous week's materials A T M kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習(漢字・語彙)(1時間) Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)
13	復習クイズ、自動販売機で見る漢字の読み、意味確認 Quiz on previous week's materials Vending machine kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習(漢字・語彙)(1時間) Examine content (kanji and vocabulary) for next week's class (1 hour)
14	復習クイズ、家電のリモコンで見る漢字の読み、意味確認 Quiz on previous week's materials Remote controller kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	試験準備(2時間) Preparation for final exam(2 hrs)
15	まとめと復習テスト Sum-up, Final test	復習(1時間) Review(1 hour)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	40
期末レポートなど	
小テストなど	30
宿題など	10

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N2漢字』アスク
参考文献等 References	必要に応じて適宜紹介します。 Provided as necessary
履修の留意点 Special Notes	この授業は非漢字圏出身学生を対象です。漢字Ⅳ②と同じ学習内容を扱います。漢字圏出身学生が履修する場合は、第1回授業のオリエンテーション時に教員と相談し、指示に従ってください。30分以上の遅刻または早退は、欠席として扱います。また、遅刻3回で欠席1回として扱います。授業に欠席した場合、漢字クイズの再テストは行いません（0点の扱いです）。 漢字は授業だけでなく自学自習が大切です。予習・復習ができない学生の履修は歓迎しません。 関連科目：日本語4 This course is prepared for students from non-kanji backgrounds. If you are from a kanji background, please understand in advance that the pace of the class may be adjusted to accommodate other students and take this into consideration when registering. More details will be informed at the orientation in the first class. As kanji requires self-study as well as class attendance, students must preview and reviews class content. Attendance will not be counted when students are late more than 30 minutes or they leave class more than 30 minutes early. If they are late three times, it will be considered as one absence. There will be no extra kanji quizzes for those who are absent. (No marks will be given) Related courses: Japanese 4
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー：木曜4限 メールアドレス：smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp Miyazaki, Satoko 宮崎 聡子 Office: 331 E-mail: smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	漢字語彙 4 ③	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	大谷 鉄平	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	漢字を500字程度学習したことがある学生。漢字圏の短期留学生対象のクラスです。
科目規定 Course Description	漢字および語彙に特化した学習を通して、その運用能力を高めることを目的とする。
授業の概要 Contents	日本語能力試験（JLPT）1級レベルの漢字を学習します。テキストを使って、1週間に約4ページ進めます。漢字だけでなく、その漢字を使った語彙も多く取り入れ、漢字・語彙力の向上を目指します。また、生教材を用いた発表等の演習も行います。
授業の目標 Learning Goals	A: 「日本語能力試験N2レベルの漢字語彙の意味がわかり読めるようになる」ことを目指します。 B: 「学習した漢字語彙を使った文章を読んだり書いたりできるようになる」ことを目指します。 E: 「学習した漢字の使われる文章を読み、その内容について意見交換できるようになる」ことを目指します。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	授業内容についての説明	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間）
2	漢字の読み、意味確認。同じ部分・同じ音読みを持つ漢字の整理①	今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。（1時間）
3	漢字の読み、意味確認。同じ部分。同じ音読みを持つ漢字の整理②	今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。（1時間）
4	漢字の読み、意味確認。同じ部分、同じ音読みを持つ漢字の整理③	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備（1時間）
5	店舗で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認①	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備（1時間）
6	店舗で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認②	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備（1時間）
7	店舗で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認③	中間試験準備(1時間)
8	中間試験	次週分の漢字語彙の予習。（1時間）
9	漢字の読み、意味確認。複数訓読みがある漢字の整理①	今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。（1時間）
10	漢字の読み、意味確認。複数訓読みがある漢字の整理②	今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。（1時間）
11	漢字の読み、意味確認。複数訓読みがある漢字の整理③	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備（1時間）
12	書字媒体で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認①	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備（1時間）
13	書字媒体で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認②	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備（1時間）
14	書字媒体で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認③	今週扱った漢字語彙の復習。（1時間）
15	総復習	期末試験準備(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	10
授業時態度など	10
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	日本語能力試験対策 日本語総まとめ N1漢字
参考文献等 References	必要に応じて適宜紹介します。
履修の留意点 Special Notes	この授業は漢字圏出身NICS学生を対象として考えています。 それ以外の学生が履修する場合は、履修が認められないことがあります。詳細は、第1回目のオリエンテーション時の指示に従ってください。 漢字は授業だけでなく自学自習が大切です。予習・復習ができない学生の履修は歓迎しません。また、グループワークによる発表もありますので、他の学生と協調できない学生の履修も歓迎しません。
連絡先 Contact	研究室：417 オフィスアワー：月曜日3限 メールアドレス：otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	ビジネス日本語B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	大谷 鉄平	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	日本語5以上にブレイスされた、中級レベル以上の日本語力を持っていること。
科目規定 Course Description	日本のビジネスやマーケティングを多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目的とする。
授業の概要 Contents	【日本語で学ぶソーシャルメディアマーケティング入門】 ビジネスにおける日本語の運用に特化し、日本語能力の向上を目的とする。 すでに身につけている日本語運用能力をフルに活かし、日本語でビジネス・経済・マーケティングに関する洞察力を磨きます。 本授業では、グループワークによる発表ならびに全体討議の形式をとり、総合的かつ実践的な日本語能力を磨きます。
授業の目標 Learning Goals	A: 「扱うケースに関連するビジネス上の知識や文化を理解できるようになる」ことを目指します。 B: 「扱うケースに関する課題を適確に把握したり、その解決方法として適切な方法を考えることができるようになる」ことを目指します。 E: 「ケースの読解やディスカッションを行うことを通して、高度なコミュニケーションができるようになると同時に、ビジネス場面で必要とされるコミュニケーションとはどういうことか理解できるようになる」ことを目指します。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	オリエンテーション時配布資料の熟読（1時間）
2	発表デモンストレーション、グループ決め	次回範囲の予習（1時間）
3	第1章「パラダイムシフトはなぜ起きるのか」（1）	授業のふりかえり（1時間）
4	第1章「パラダイムシフトはなぜ起きるのか」（2）	次回範囲の予習（1時間）
5	第2章「口コミの形成が勝敗の分かれ目」（1）	授業のふりかえり（1時間）
6	第2章「口コミの形成が勝敗の分かれ目」（2）	次回範囲の予習（1時間）
7	第3章「ニーズに応えオンリーワン商品をつくる」（1）	授業のふりかえり（1時間）
8	第3章「ニーズに応えオンリーワン商品をつくる」（2）	次回範囲の予習（1時間）
9	第4章「カスタマー・エクスペリエンスを提供する」（1）	授業のふりかえり（1時間）
10	第4章「カスタマー・エクスペリエンスを提供する」（2）	次回範囲の予習（1時間）
11	第5章「集合知が成功の切り札」（1）	授業のふりかえり（1時間）
12	第5章「集合知が成功の切り札」（2）	次回範囲の予習（1時間）

13	第6章「従業員のモチベーションが企業の根幹を変える」(1)	授業のふりかえり(1時間)
14	第6章「従業員のモチベーションが企業の根幹を変える」(2)	授業のふりかえり(1時間)
15	第7章「二十一世紀の経営スタイルは「共振化」」 全体のまとめ	期末課題作成(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	
期末レポートなど	40
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	20
授業時態度など	20
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	小池晋一(2007)『ウェブ新時代の「ロコミ」戦略—ナンバー1になるためのビジネススタイル—』 PHP研究所、720円+税
参考文献等 References	「DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー」2015年7月号、ダイヤモンド社
履修の留意点 Special Notes	本授業は、ビジネスマナーや敬語の使い方などを学ぶものではありません。 本授業のメインは全体討議です。積極的な発言が求められます。ただ黙っているだけでは、評価は下がります。 関連科目：特になし
連絡先 Contact	研究室：417 オフィスアワー：月曜日3限 メールアドレス：otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	講座日本事情 1 B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	堀川 瑛司	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○	○		

履修要件 Prerequisites	日本語 4・5 クラス Students in Japanese 4-5
科目規定 Course Description	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目的とする。 This course aims to help students to understand Japanese culture and society from various perspectives while to improve Japanese ability.
授業の概要 Contents	幅広い観点から文化理解を目指す。 日本人・社会について最終的に結論を出すのではなく、文化の多様性・個性に対する「気づき」をもつ。 In this course, students will use conversations with Japanese speakers to deepen their understanding and appreciation of daily life and culture in Japan as well as their home countries. Students will go avoid reaching simple conclusions about Japanese people and society and instead acknowledge differences and characteristics among cultures.
授業の目標 Learning Goals	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目指す。 A: 独自の異文化理解の観点を説明できる B: 日本文化と自文化の異同を説明できる C: 日本文化の現状を理解する This course aims to help students to understand Japanese culture and society from various perspectives while improving Japanese ability. A: Become able to explain one's own opinions on cross-cultural understanding. B: Become able to explain the similarities and differences between students' and Japanese cultures. C: Comprehend current Japanese culture.

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバスの説明、日本語の特徴（敬語、方言、本音と建前、縮約形）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、自宅の間取りを考察する（4時間）
2	日本の住宅環境（和室、洗面所とトイレ、室内土足厳禁）と買い物（消費税とセール）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、日本の交通環境を考察する（4時間）
3	日本の交通環境（陸・海・空、女性専用車両の是非）と留学生のための法律知識（アルバイトと賃貸契約）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、日本人の食生活を考察する（4時間）
4	日本人の食生活（和食と食の多様性、マナー）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、日本の四季を考察する（4時間）
5	日本の四季（各季節の特徴とイベント）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、お祭りと京都を考察する（4時間）
6	京都の観光名所とお祭りの説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、自分が行きたい日本の観光名所を調べる（4時間）
7	日本の観光名所（世界遺産）を説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、日本の伝統芸能についての動画をインターネットなどで見る（4時間）

8	日本の伝統芸能と芸道（歌舞伎、能、狂言、武道、芸術）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、母国の大学と長崎外大を比較する（4時間）
9	日本の教育（高等教育、教育制度、教育史、教育における問題）と大学生活（ゼミ、アルバイト、飲み会など）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、自分の好きな邦画、邦楽などについて説明する準備（4時間）
10	日本の国際化（日本と西欧化、ソフトパワー）とエンターテインメント（邦画、邦楽）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、海外の日本人像と実像を考察する（4時間）
11	現代の日本人（現代の価値観の変化と多様性、家族、就労）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、日本と民主主義を考察する（4時間）
12	日本の国土（地理と資源）と政治経済（日本の民主主義制度の歴史）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、大日本帝国憲法と日本国憲法を比較する（4時間）
13	日本国憲法（第一条と第九条）と平和問題（集団的自衛権と戦争、自衛隊）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、日中韓関係を考察する（4時間）
14	日本のあゆみ（中国朝鮮関係史と天皇）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、日本人の宗教観を考察する（4時間）
15	宗教（仏教、神道、キリスト教、新興宗教、日本人の宗教観）の説明、ディスカッション	期末テストのための準備（4時間）
9	日本の教育（高等教育、教育制度、教育史、教育における問題）と大学生活（ゼミ、アルバイト、飲み会など）の説明、ディスカッション	次週の教科書の内容確認、自分の好きな邦画、邦楽などについて説明する準備（4時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	40
期末レポートなど	
小テストなど	30
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	15
授業への参加度など	15
その他	

教科書 Textbooks : Materials	留学生のための日本事情入門—1冊でわかる最新日本の総合的紹介 出版社: 文理閣 アジアにおける日本研究ゼミナール (著), 桂島 宣弘 (編集)
参考文献等 References	適宜紹介する。 References will be introduced during class.
履修の留意点 Special Notes	受講予定者はオリエンテーション（第1回目）から出席すること。 授業開始時に前回の内容を確認するための小テストを実施する。 関連科目：なし。 All students are required to attend the first class. Quizzes on last class will be provided in the beginning of each class. Related courses: none.
連絡先 Contact	場所：340 オフィスアワー（及び時間帯）：木曜日3限 メールアドレス：horikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp Office：340 Office hour：Thursday 3rd period Email：horikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	講座日本事情 2 B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	大谷 鉄平	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○	○		

履修要件 Prerequisites	日本語 6、7 レベルにブレイスされた学生
科目規定 Course Description	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目的とする。
授業の概要 Contents	日本に暮らす複数の外国人が語った「自国と日本との違い」「日本人像」に関する文章を通じ、比較文化的感性を養うとともに、「日本人とは何か」について考察する。本授業では、グループワークによる発表ならびに全体討議の形式で、総合的かつ実践的な日本語能力を磨く。
授業の目標 Learning Goals	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目指す。 A: 独自の異文化理解の観点を述べられる B: 日本文化と自文化について異同が述べられる C: 日本文化と現状について理解する

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	授業方針の提示、教材に関する内容の予習（4時間）
2	発表デモンストレーション グループ決め	「近未来の自転車ライダー？」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
3	「日本のここに驚いた！」（1）	「「しょうがない」と「がんばる」が共存する」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
4	「日本のここに驚いた！」（2）	「大変な病気なのに働いている？」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
5	「日本のここに驚いた！」（3）	「私は他の惑星から来た宇宙人？」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
6	「日本人と結婚して」（1）	「カッとするのはエネルギーの無駄遣い」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
7	「日本人と結婚して」（2）	「母は私を日本人だと思っています」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
8	「日本に来て変わっていく私」（1）	「疎外感を感じたこともあったけれど」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
9	「日本に来て変わっていく私」（2）	「お互いの国の関係はギクシャクしても」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
10	「日本に来て変わっていく私」（3）	「大学生が質問をしてこないのには困った」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
11	「日本の教育について、ひと言」（1）	「日本の先生は忙しい」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
12	「日本の教育について、ひと言」（2）	「日本人はウソつき？」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
13	「日本のみなさん、聞いてください」（1）	「兄妹が手をつないでもヤキモチをやかないで」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
14	「日本のみなさん、聞いてください」（2）	「日本の女性について思う、いくつかのこと」 を題材としたグループ発表の準備（4時間）
15	全体のまとめ	期末課題作成（4時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	40
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	20
授業時態度など	20
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	加藤恭子編（2015）『日本人のここがカッコイイ！』文藝春秋、780円＋税
参考文献等 References	適宜紹介する
履修の留意点 Special Notes	授業時に日本語を間違えてしまうことは、恥ずかしくありません。 積極的に、日本語で、思ったことを発言することが求められます。 ただ黙っているだけでは、評価は下がります。 関連科目：日本の社会、日本の文化
連絡先 Contact	研究室：417 オフィスアワー：月曜日3限 メールアドレス：otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	アクティブ日本事情B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聖乃	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○		◎	

履修要件 Prerequisites	日本語 3 以上にプレイスされた学生が望ましい This course is recommended for students who study in Japanese 3 or over.
科目規定 Course Description	学内外におけるアクティビティを通じて、応用的な日本語能力の取得と目的とする。 Students will gain applied Japanese ability through in and out of school activities.
授業の概要 Contents	「大学生生活」「身近な社会」「日本社会における多様性」について、クラス内でのディスカッション、日本人学生とのディスカッションやアクティビティ（ビジターセッション）、学外からゲストスピーカーを招いてのディスカッション（ヒューマンライブラリー）、見学、ポスター発表などを行う。これらの授業を通して、実践的な日本能力を身につけるとともに、日本の社会や文化について理解を深め、さらに自文化を見つめ直す機会となることを期待する。2回のポスター発表を予定しており、うち1回（学期最終週）は自分で選んだテーマについてのポスター発表を行う。 The course has 3 main themes, "University-The closest Japanese society for students", "Japanese technology and service", and "Minorities in Japanese society". Students will acquire authentic Japanese ability, deepen their understanding of Japanese society and culture, through discussion about the 3 themes, discussion with Japanese students, activity (Visitor Session), discussion with a guest from outside, field trip, presentation about a self-made poster. Hopefully, this course can be an opportunity for students to get inspired to reflect on their own culture. There will be twice poster presentations. One of the presentation themes will be student's own choice (this presentation will be held in the last week)
授業の目標 Learning Goals	A: 日本の文化や社会に対する理解と関心を深める。異文化について学ぶことで自文化に対して客観的に見ることができるようになる。 B: 効果的な情報収集の方法や発表について検討し実践することができる。 D: 多様な日本語話者と日本語によるコミュニケーションを行うことで、実践的な日本語コミュニケーション力を身につけ協力的なコミュニケーションができるようになる。 A: Deepen the understanding and interest of Japanese culture and society. Be able to have a new perspective of student's own culture through learning different culture. B: Be able to consider and practice effective ways of collecting information. D: Be able to acquire authentic, cooperative communication skills in Japanese, through communication with multiple native Japanese speakers

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション（ビジターセッション、ポスター発表、見学、ヒューマンライブラリーについて）	ビジターセッションの準備（4時間）
2	ビジターセッション／ポスター発表の準備	ビジターセッションの準備（4時間）
3	「大学生生活」についてビジターセッション	振り返り・フィードバック（FB）シートの記入（4時間）
4	ポスター発表準備（ディスカッション／ポスター作成）	ポスター発表準備（4時間）
5	ポスター発表準備（ディスカッション／ポスター作成）	ポスター発表準備（4時間）
6	ポスター発表の準備／ヒューマンライブラリーの準備	ポスター発表準備（4時間）

7	学外からゲストスピーカーを招いての小グループによるディスカッション（ヒューマンライブラリー）	振り返り・フィードバック（FB）シートの記入（4時間）
8	ポスター発表	振り返り・フィードバック（FB）シートの記入（4時間）
9	ヒューマンライブラリー／ポスター発表のフィードバック	ポスター発表準備（4時間）
10	諏訪神社見学（学外活動のため土曜日に実施）	見学の準備／感想のまとめ／まとめシート記入（4時間）
11	各自のテーマによるポスター発表の準備（ポスター作成）	ポスター発表準備（4時間）
12	各自のテーマによるポスター発表の準備（ポスター作成）	ポスター発表準備（4時間）
13	各自のテーマによるポスター発表の準備（ポスター作成）	ポスター発表準備（4時間）
14	各自のテーマによるポスター発表	振り返り・フィードバック（FB）シートの記入（4時間）
15	振り返り	学期の振り返り・FBシートの記入（4時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	60
授業時態度など	
授業への参加度など	40
その他	

教科書 Textbooks : Materials	なし N/A
参考文献等 References	授業内で紹介 Introduced in class
履修の留意点 Special Notes	受講生は20名程度を予定しており、受講希望者多数の場合は抽選となることがある。第4回の交通費（300円程度）は自己負担とする。 関連科目：その他の日本語科目 Please note that this class is intended for about 20 students. If there are too many applicants, students may be chosen by lottery. Related courses: Other Japanese courses On the field trip in class 5, students must pay for the transportation fee (about 300 yen) by themselves. 受講生の希望により、見学場所等が変更になることがある。
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー： 木曜4限（この時間以外はアポにて対応） メール： miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp Office Number: 331 Office Hour: Thursday 4th period (Other hours available with an appointment) E-mail Address: miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	日本の文化B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	宮崎 賢太郎	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	なし
科目規定 Course Description	日本の文化を多面的にから紹介し、現在の日本を構成する様々なシステムの文化的背景の理解を目的とする。
授業の概要 Contents	私たちの身の回りには原因の分からない現象は無数にあるが、原因のない結果はないといってよい。いかなる民族であれ、伝統、習慣、慣習、習俗などと呼ばれる伝承文化の中で、生れてより死にいたるまで、それらに彩られ、あるいは縛られて生きている。しかし、今日、私たちはそれらの文化の持つ本来の意味や意義を忘れ、形だけが今日まで継承されてきているのが現状である。この授業では日本の民衆の中に、今でもしっかりと息づいている、日本人のメンタリティーの根源を明らかにしていく。日本の文化Bでは、民俗学の基本知識を学び、具体的な事例として、日本人の人生儀礼における誕生儀礼、成人儀礼、婚姻儀礼、死者儀礼などを通して日本の民衆の心の原点とはいかなるものか理解できるようにする。
授業の目標 Learning Goals	A: 日本における民衆の日常生活のありようについての基礎知識を獲得できるようになる B: 日本人の心の奥に隠れている行動原理を理解し、日本人のものの考え方の基本が理解できるようになる E: 日本人と人間を超越した存在（カミ）の関係を知り、日本人の死生観、世界観を理解できるようになる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバスについて授業の目的、内容、運用方法、試験についてなど説明した。	「文化とは何か」というタイトルの資料を配布し、次回までにしっかり読んで、じぶんで文化について調べ、考えてくるように指示。（4時間）
2	前回配布した「文化とは何か」のプリントに従って文化とは何か、また文化について研究する際に必要な2視点	民俗学と民族学の違いについて調べてくるように指示。（4時間）
3	民俗学と民族学の違いに言及しながら、民俗学とはどのような学問か説明した。	民俗学の父柳田国男について調べてくるよう指示。（4時間）
4	柳田国男のの思想をもとに、日本人の先祖観と死生観について説明し、民俗学の方法論について説明した。	日本人の神観念について講義レジュメを配る。（4時間）
5	日本人は何を神と考えてきたのか、怨霊信仰、御霊信仰について説明し、日本人の宗教意識の根底にある「祟り	これまでのノートの整理とまとめを指示。（4時間）
6	DVD「靈魂はあるか」とみながら、日本人の神に対する感覚を説明した。	「タブー・タタリ・ケガレ」に関する授業レジュメを配布（4時間）
7	DVD「靈魂はあるか」の残りを見て、タタリについて考えた。	DVD「靈魂はあるか」についてレポート提出するよう指示。（4時間）
8	「タブー・タタリ・ケガレ」に関する配布プリントに従って、日本人におけるケラレー・タタリ観について説明し	出産儀礼に関する授業レジュメを配布。（4時間）
9	人生儀礼の中の出産儀礼を取り上げて、その中に見られる、ケガレに関する習俗について説明した。	これまでのノートの整理とまとめを指示。（4時間）
10	産小屋の存在について説明し、出産にまつわる様々な神と穢の関係について論じた。	「成人式」に関する授業レジュメを配布。（4時間）
11	日本人の成人式について若者宿を例として、死と再生の意義について考えた。	折口信夫について調べてくるように指示。（4時間）

12	未開社会と日本とに関する成人式のDVDをみた。	「婚姻儀礼」に関する授業レジュメを配布。(4時間)
13	日本人の結婚にまつわる民衆の習俗について説明した。	これまでのノートの整理とまとめを指示。(4時間)
14	折口信夫の「巫女論」を通して、日本における祭、神、宗教の原初形態について説明した。	「葬送儀礼」に関する授業レジュメを配布。(4時間)
15	日本人の死生観先祖とのかかわりについて説明した。	試験に際してノートを提出するよう指示。(4時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	60
期末レポートなど	
小テストなど	10
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	なし
参考文献等 References	授業中に紹介する
履修の留意点 Special Notes	6回以上(6回を含む)欠席すると受験資格なし。 受講人数によっては座席を指定する。 授業中のスマホ使用は厳禁。 関連科目:日本の社会B/A
連絡先 Contact	giOVken@sea.plala.or.jpのアドレスにメールにてコンタクトをとること。

科目名 Course title	日本の文学B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	松本 真輔	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	N1に相当する日本語能力を有している学生を対象とする。
科目規定 Course Description	様々なテキストの鑑賞を通じて、日本文学の紹介および理解を目的とする。
授業の概要 Contents	本講義では、学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等を目指し、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートを積極的に行っていく。
授業の目標 Learning Goals	A: 絵画資料を通して『源氏物語』の内容を理解する。 B: 類推力を養うことで、文脈から記述内容がおおよそ読み取れる。 E: 口頭発表・討論を円滑な日本語で行う。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	『源氏物語』に関する導入。プレゼンテーションの方法、絵画資料の扱いについての説明。	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
2	『源氏物語』の背景となる平安時代の社会・文化の解説。	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
3	桐壺・帚木・空蝉・夕顔	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
4	若紫・末摘花・紅葉賀・花宴	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
5	葵・賢木・花散里・須磨	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
6	明石・滯標・蓬生・関屋	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
7	絵合・松風・薄雲・朝顔・少女	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
8	玉鬘・初音・胡蝶・蛭・常夏	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
9	篝火・野分・行幸・藤袴	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）

10	真木柱・梅枝・藤裏葉・若菜上	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
11	若菜下・柏木・横笛・鈴虫	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
12	夕霧・御法・幻・匂宮	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
13	紅梅・竹河・橋姫・椎本	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
14	総角・早蕨・宿木・東屋	配付資料を熟読。「各巻の内容」「古典知識（社会・風俗）」「各巻の絵巻」を担当に分けてプレゼンテーションの準備をする。（4時間）
15	浮舟・蜻蛉・手習・夢浮橋	今学期の授業の振り返り。（4時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	50
授業時態度など	
授業への参加度など	50
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布。
参考文献等 References	佐野みどり『じっくり見たい『源氏物語絵巻』』（小学館、2000年）
履修の留意点 Special Notes	プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートが中心となる。 授業の連絡は大学のメールアドレスのみを使用する。（大学以外のものは一切認めない） 関連科目：なし
連絡先 Contact	場所：301 オフィスアワー（及び時間帯）：水曜 4 限 メールアドレス：matsumoto@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	日本の社会B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	石川 昭仁	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	日本語の理解能力のある学生を対象とする。
科目規定 Course Description	日本社会における様々なシステムを紹介し、現在の日本についての理解を促進する。
授業の概要 Contents	戦後日本社会の歴史を概観した後に、特に六〇年代半ばから現在まで、政治・経済・社会・家族…すべてが変化していく過程をたどり、現代日本の姿を多角的に学びます。
授業の目標 Learning Goals	A: 戦後日本社会の大きな歴史的変化について、概要を述べることができる。 B: 高度成長、地域開発、郊外化、核家族、バブル崩壊、失われた10年などのキーワードを理解し、その概要を述べることができる。 E: 現代日本の状況を歴史的な視点や自国と比較的な視点から捉え、現代日本のいくつかの具体的状況について自分の意見を述べることができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	授業の導入	配布資料の予習とキーワードの整理（4時間）
2	戦後日本の歴史を概観する。（その一）	教科書PP.1-20を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
3	戦後日本の歴史を概観する。（その二）	教科書PP.1-20を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
4	戦後日本の歴史を概観する。（その三）	教科書PP.1-20を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
5	1960年代から1970年代へ・・・左翼運動の終わり①あさま山荘事件	教科書PP.21-40を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
6	1960年代から1970年代へ・・・左翼運動の終わり②あさま山荘事件	教科書PP.21-40を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
7	1960年代から1970年代へ・・・左翼運動の終わり③学生運動	教科書PP.21-40を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
8	1960年代から1970年代へ・・・左翼運動の終わり④労働運動	教科書PP.41-52を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
9	高度成長① 大阪万博	教科書PP.53-78を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
10	高度成長② メディアの役割、いざなぎ景気	教科書PP.53-78を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
11	高度成長③消費社会、流通革命	教科書PP.53-78を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
12	高度成長③ 田名角栄、日本列島改造論	教科書PP.79-88を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）
13	高度成長③ ニクソンショック、石油ショック、ロッキード事件、沖縄海洋	教科書PP.79-88を読み、キーワードをノートに整理する。（4時間）

14	変容する日本人の意識① 家族観、男女雇用機会均等法、郊外化と核家族化	"教科書PP.88-116を読み、キーワードをノートに整理する。 (4時間) "
15	変容する日本人の意識②	教科書PP.117-127を読み、キーワードをノートに整理す

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	60
小テストなど	20
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	吉見俊哉「ポスト戦後社会」（岩波親書）820円＋税
参考文献等 References	上記、吉見俊哉「ポスト戦後社会」（岩波親書）の巻末に詳細な参考文献があります。そのほか、授業中に適宜紹介します。
履修の留意点 Special Notes	関連科目：特になし
連絡先 Contact	電子メール ishikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp まで。

科目名 Course title	長崎と世界B	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	本田 貞勝	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	日本語で論理的な文章を書く能力がある短期留学生が対象。 長崎の歴史に興味を持ち、向学心のある者。
科目規定 Course Description	日本の中でも古くから海外との交流を深めてきた長崎の文化についての理解を目的とする。
授業の概要 Contents	長崎の歴史、文化をジャーナリストの視点と切り口で解説し、現代社会との関連、世界との関連を学ぶ。
授業の目標 Learning Goals	A. 自国に戻ってからも長崎の歴史を発表できるよう知識を身に着ける。 B. 現代社会の動きに関心を持ち、国際社会に通用する人間力の向上に資する。 E. できるだけバランスのとれた思考ができるよう努める。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション。授業の概要説明。授業に対する期待、要望を書かせる。 要望に対する回答をする。	世界地図、日本地図、長崎県地図の把握。（4時間）
2	授業の概要を説明。授業に対する期待、注文、質問を書かせた。	これから起こる時事問題、ニュースに関心をもとことなどを指示。（4時間）
3	先週書かせた期待、質問に対し、すべてにわたって回答した。	シラバスにある参考文献を読んでおくよう指示。（4時間）
4	復興大臣の更迭など時事問題を解説。長崎の景色をパワーポイントで説明。	出島の事前見学。（4時間）
5	天皇の「生前退位」特例法案の解説。	唐人屋敷を調べておくこと。（4時間）
6	長崎の歴史の特異性、長崎と中国の一衣帯水の関係を解説。	朝鮮通信使の歴史を調べておくこと。（4時間）
7	朝鮮半島と長崎の歴史的関係を説明。	将軍の系譜を調べておくこと。（4時間）
8	アルファ碁、藤井聡太4段の連勝記録、長崎くんちを解説。	長崎街道を調べておくこと。（4時間）
9	北朝鮮のミサイル発射、中国の一带一路構想、退位特例	踏み絵について調べておくこと。（4時間）
10	長崎の寺院と教会、オランダ風説書をパワーポイントで解説。	長崎事始めを調べておくこと。（4時間）
11	なぜ原爆は長崎に落とされたのかの歴史的検証。第2次世界大戦の経緯。	原爆資料館の事前見学（4時間）
12	原子力の威力、長崎の被爆の実相、被爆者の推移など解説。	第2次世界大戦の犠牲者の実態を調べておくこと。（4時間）
13	劉曉波氏の死去、九州北部豪雨、梅雨明け、熱波到来など説明。	兵器の変遷を調べておくこと。（4時間）

14	留学生活で感じる日本の変なところ討論 長崎の災害史の解説。	世界のテロの現状把握。(4時間)
15	日本の生活保護、自殺大国の実態、貧富の差などを解説。	今まで学んだことの自己総括。(4時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	60
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	20
授業時態度など	20
授業への参加度など	
その他	

教科書 Textbooks : Materials	特になし。毎日の新聞、テレビ、ネット情報などのニュースを教材にして学ぶ。
参考文献等 References	「長崎奉行物語」(本田貞勝著) 「コラム長崎散歩」(本田貞勝著) 「龍馬の長崎」(本田貞勝著)
履修の留意点 Special Notes	長崎の歴史のほか、時事問題を多く取り上げ、生きた国際人教育を目指す。 学習意欲を示すノートの記述を奨励し、テストではノートの持ち込みができる。 関連科目: 長崎文化論 I/II
連絡先 Contact	メールアドレス: sadakatsu@ark.ocn.ne.jp

科目名 Course title	日本のビジネスB	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	西村 宣彦	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	特にありませんが、毎回日本語のプリントを読んでまとめる課題をもとに議論するので、予習が必須です。
科目規定 Course Description	日本におけるビジネスのあり方やビジネスモデルを学びながら、その特徴を理解することを目的とする。
授業の概要 Contents	日本の代表企業であるトヨタ自動車の経営について、経営者が書いた書籍をもとにしたプリントを読みながら、日本の経営の特徴をグループでマインド・マップなどの手法を使って議論し、議論の結果を発表しながら、日本のビジネスについての理解を深める
授業の目標 Learning Goals	A：日本のビジネスの考え方について、利点や問題点を論理的に説明できる。 B：日本のビジネスの利点を、自らの問題解決に生かすことができる。 E：ビジネスに関する事項に関して、自らの意見を論理的に述べることもできるとともに、他の人の意見を傾聴し、的確な質問ができるようになる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	チーム作り、チーム内自己紹介、授業の進め方に関するレジュメのチーム内読み合わせ、教師による補足説明	授業の進め方に関するレジュメの理解（4時間）
2	ファシリテーションについてのレジュメの説明、傾聴の実践、「場をデザインする」ことの理解と実践。	「トヨタ生産方式序論」に関するプリントの読解とマインドマップに関する予習（4時間）
3	予習方法の説明、マインドマップの書き方の説明と実践	「トヨタ生産方式序論」に関するプリントの読解とマインドマップ作成（4時間）
4	トヨタ生産方式についての予習の評価、予習内容のチーム内での共有、個人の行動と集団の行動についての講義	「ジャストインタイムの思想」に関するプリントの読解とマインドマップの作成（4時間）
5	ジャストインタイムに関する予習のピアレビュー、予習内容のチーム内、クラス内共有、ケースの検討	「カンバン」の着想に関するプリントの読解とマインドマップの作成（4時間）
6	カンバンに関する予習のピアレビュー、予習内容のチーム、クラスでの議論、組織と情報伝達・意思決定理論の講義	「標準作業」に関するプリントの読解とマインドマップの作成（4時間）
7	標準作業に関する予習のピアレビュー、チームまとめとまとめの発表、テイラーの作業分析についての講義、見える管理と目標設定理論に関する講義と議論	「自動化」に関するプリントの読解とマインドマップの作成（4時間）
8	自動化に関する予習のピアレビュー、チームまとめとまとめの発表、ラインが止まった時の作業者とチームリーダーとの対話に対するロールプレイ	「品質管理」に関するプリントの読解とマインドマップの作成（4時間）
9	品質管理に関する予習のピアレビュー、チームまとめとまとめの発表、組織文化、ナレッジマネジメントにおけるSECIモデルの説明。組織学習の仕組みを中華料理店に取り入れてみることにについてのチーム内での検討とその結果の発表	「教育と訓練」に関するプリントの読解とマインドマップの作成（4時間）

10	教育と訓練に関する予習のピアレビュー、チームまとめとまとめの発表、コルプの経験学習モデルについての説明。「大学における学習を将来の自分に役立てるためには？」についてのチーム議論と議論結果の発表	「自国内生産」に関するプリントの読解とマインドマップの作成（4時間）
11	自国内生産に関する予習のピアレビュー、チームまとめとまとめの発表、組み合わせ型製品とすり合わせ型製品についての説明。「なぜ、すり合わせ型製品が生き残れるのか？」についてのチーム議論と議論結果の発表	「経営再建の二つの戦略」に関するプリントの読解とマインドマップの作成（4時間）
12	経営再建の二つの戦略に関する予習のピアレビュー、チームまとめとまとめの発表、マズローの欲求の5段階説、マグレガーXY理論の説明。「なぜ、張さんは工場内をニコニコしながら歩き回ることをやめなかったか？」について議論	「コンカレントエンジニアリング」に関するプリントの読解とマインドマップの作成（4時間）
13	コンカレントエンジニアリングに関する予習のピアレビュー、チームまとめとまとめの発表、プロジェクトマネジメントに関する講義、「チャーハン、鶏のから揚げ、とスープからなる定食をコンカレントで作り上げるには？」の問いの議論	「作業改善から設備改善へ」に関するプリントの読解とマインドマップの作成（4時間）
14	作業改善から設備改善へに関する予習のピアレビュー、チームまとめとまとめの発表、作業改善において重要な価値工学についての講義、「作業改善において必要なことは何か？」についての議論	「この講義で学んだものの中で将来最も役に立つと思うもの」についてのレポート（4時間）
15	この講義で学んだことについてサークルで話し合い。	全体の振り返り。「この講義で得たものを自分の将来に生かすには」についての省察（4時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	50

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	30
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	特に使用しません。
参考文献等 References	岩月伸郎 『生きる哲学 トヨタ生産方式』 幻冬舎新書、2010年 伊丹敬之, 加護野忠男 『ゼミナール経営学入門（第3版）』 日本経済新聞社,, 2003
履修の留意点 Special Notes	プリントの予習をもとにしたチームでの議論が中心の講義ですので、予習をしたうえでの出席が必須です。関連科目；日本の経営論I/II
連絡先 Contact	メール：nishimra@nagasaki-u.ac.jp

科目名 Course title	自由課題研究B①	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	松本 真輔	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	◎	○		○

履修要件 Prerequisites	N1に相当する日本語能力を有している学生を対象とする。
科目規定 Course Description	学生個人が自ら探求したいと思うテーマについてレポートを作成する。
授業の概要 Contents	各自でテーマを決め、発表と討論を行う。
授業の目標 Learning Goals	A:論文作成の基本的なルールを学ぶ。 B:類推力を養うことで、文脈から記述内容がおおよそ読み取れる。 C:大学で学ぶ上での問題意識を持ち、それを深める。 E:日本語による発表と討論の練習。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	授業の概要・導入	配付資料を熟読する（4時間）。
2	論文のテーマ設定：概要	配付資料を熟読する（4時間）。
3	論文のテーマ設定：口頭発表と討論（1）	配付資料を熟読する（4時間）。
4	論文のテーマ設定：口頭発表と討論（2）	配付資料を熟読する（4時間）。
5	論文のテーマ設定：口頭発表と討論（3）	配付資料を熟読する（4時間）。
6	資料収集：口頭発表と討論（1）	配付資料を熟読する（4時間）。
7	資料収集：口頭発表と討論（2）	配付資料を熟読する（4時間）。
8	資料収集：口頭発表と討論（3）	配付資料を熟読する（4時間）。
9	論文アウトラインの作成：口頭発表と討論（1）	配付資料を熟読する（4時間）。
10	論文アウトラインの作成：口頭発表と討論（2）	配付資料を熟読する（4時間）。
11	論文アウトラインの作成：口頭発表と討論（3）	配付資料を熟読する（4時間）。
12	論文の作成：口頭発表と討論（1）	配付資料を熟読する（4時間）。
13	論文の作成：口頭発表と討論（2）	配付資料を熟読する（4時間）。
14	論文の作成：口頭発表と討論（3）	配付資料を熟読する（4時間）。
15	論文の作成：口頭発表と討論（4）	配付資料を熟読する（4時間）。

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	80
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	各自で準備。
参考文献等 References	各自で準備。
履修の留意点 Special Notes	各自でテーマを決め、発表と討論を行う。 関連科目：自分のテーマと関連する科目
連絡先 Contact	場所：301 オフィスアワー（及び時間帯）：水曜 4 限 メールアドレス：matsumoto@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	自由課題研究B②	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	野田 雄史	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	◎	○		

履修要件 Prerequisites	授業では頻繁に質疑応答を行いますので、それに対応できる日本語能力が求められます。
科目規定 Course Description	学生個々人が自ら探求したいと思うテーマについてレポートを作成する。
授業の概要 Contents	各自でテーマを決め、発表と討論を行います。
授業の目標 Learning Goals	A/B:大学で学ぶ上での問題意識を持ち、それを深める。 C:日本語による発表と討論の練習。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	授業の概要の説明。 授業の進め方についての説明。	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
2	発表と討論 (1)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
3	発表と討論 (2)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
4	発表と討論 (3)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
5	発表と討論 (4)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
6	発表と討論 (5)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
7	発表と討論 (6)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
8	発表と討論 (7)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
9	発表と討論 (8)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
10	発表と討論 (9)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
11	発表と討論 (10)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
12	発表と討論 (11)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
13	発表と討論 (12)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
14	発表と討論 (13)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
15	発表と討論 (14)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験 (中間・期末)	
期末レポートなど	70
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	30
その他	

教科書 Textbooks : Materials	各自で準備。
参考文献等 References	各自で準備。
履修の留意点 Special Notes	積極的に授業に参加してください。 関連科目：自分のテーマと関連する科目
連絡先 Contact	授業外での相談は研究室（305）で受け付けます。 オフィスアワー：○曜日○時限目 メールアドレス：noda@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp メールでの相談も可能です。 noda@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	自由課題研究B③	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	小鳥居 伸介	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	◎	○		

履修要件 Prerequisites	授業では頻繁に質疑応答を行いますので、それに対応できる日本語能力が求められます。
科目規定 Course Description	学生個々人が自ら探求したいと思うテーマについてレポートを作成する。
授業の概要 Contents	各自でテーマを決め、発表と討論を行います。
授業の目標 Learning Goals	A/B:大学で学ぶ上での問題意識を持ち、それを深める。 C:日本語による発表と討論の練習。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	授業の概要の説明。 授業の進め方についての説明。	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
2	発表と討論 (1)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
3	発表と討論 (2)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
4	発表と討論 (3)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
5	発表と討論 (4)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
6	発表と討論 (5)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
7	発表と討論 (6)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
8	発表と討論 (7)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
9	発表と討論 (8)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
10	発表と討論 (9)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
11	発表と討論 (10)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
12	発表と討論 (11)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
13	発表と討論 (12)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
14	発表と討論 (13)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
15	発表と討論 (14)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験 (中間・期末)	
期末レポートなど	70
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	30
その他	

教科書 Textbooks : Materials	各自で準備。
参考文献等 References	各自で準備。
履修の留意点 Special Notes	積極的に授業に参加してください。 関連科目；自分のテーマと関連する科目
連絡先 Contact	授業外での相談は研究室（322）で受け付けます。 オフィスアワー：水曜日3時限目 メールでの相談も可能です。 kotorii@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	実習・日本の伝統文化 1 [A グループ	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	富田 高嗣	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
		◎	○	○

履修要件 Prerequisites	特になし None
科目規定 Course Description	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。 The aim of the course is to learn the state of Japanese culture through real experience of its traditional culture.
授業の概要 Contents	(書道) 実技が主なので、全体指導と個別指導をしたい。机間を回り、一人ひとりの実態に応じて矯正、達成度を観察。既習技能を活用し、日本の伝統文化である書きぞめに挑戦させたい。(DVD書道鑑賞(江副景舟)) (茶道) 茶道の基本、道具の名前、茶道の足の運び方、初心者のお茶の点て方、盆略点前の点前を習得する。 (日本の遊び) 伝統的な日本の遊びを実際に体験してもらう。 (Calligraphy) This class provides students with individual and group instruction in the practical skills of calligraphy. Each student will receive individual attention to help refine their skills, and students will practice the Japanese New Year's tradition of kakizome. Students will also see a DVD with detailed instruction during one class session. (Tea Ceremony) In this class, students will learn the fundamentals and tools of the tea ceremony, and practice the simple BonryakuTemaie tea-making procedure. (Japanese traditional games) Discover traditional Japanese games by actually playing them.
授業の目標 Learning Goals	(書道) 日本の伝統文化である書道への誘い 毛筆による基礎的な書写能力の習得 (茶道) 日本の歴史的伝統文化茶道を学ぶ。 (日本の遊び) 日本の伝統的な遊びを体験することで、民間に伝わる文化を学ぶことができる。 C: 異文化理解のために、様々な実習を通じて、学習意欲を喚起することができる。 D: 様々な実習を通じて、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E: 様々な実習を通じて、コミュニケーション能力を養うことができる。 (Calligraphy) An introduction to calligraphy in Japanese culture Practice with the fundamental calligraphy brush strokes and handwriting skills (Tea Ceremony) Study the traditional Japanese tea ceremony (Japanese traditional games) By enjoying some of the traditional Japanese games, students will be able to learn more about Japanese people's culture. C: Students will be encouraged to develop intercultural understandings through various practical training. D: By working in groups, students will be able to achieve common goals through various practical training. E: Students will be able to improve communication skills through various practical training.

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	(書道) 書道入門、道具(用具)の説明、基本的点画の説明 (Calligraphy) Introduction Explanation of calligraphy tools and strokes	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
2	(書道) 漢字の筆使いについて (Calligraphy) On kanji brush strokes	学習内容の復習、DVD鑑賞(1時間) Review class content (1 Hour)
3	(書道) かなの筆使いについて (Calligraphy) On kana brush strokes	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
4	(書道) 小筆の筆使いについて (Calligraphy) On small brush strokes	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
5	(書道) 半折 1 / 4 の条幅へ挑戦 (Calligraphy) Practice with different paper sizes	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)

6	(書道) 半折 1 / 4 の条幅へ挑戦 (Calligraphy) Practice with different paper sizes	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
7	(書道) まとめ(総括) (Calligraphy) Conclusion (summary)	これまでの学習成果を自己復習する(1時間) Course self-review (1 Hour)
8	(日本の遊び) 将棋、囲碁、花札などの昔の遊びを体験 (Japanese traditional games) Discover traditional games such as Japanese chess and others	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
9	(茶道) 初歩の茶道、DVD鑑賞 (Tea ceremony) Tea ceremony fundamentals, DVD watching	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
10	(茶道) 割稽古、裏千家歴代の話、お茶の頂き方 (Tea Ceremony) Tea ceremony fundamentals, Urasenke school of tea ceremony, how to receive tea	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
11	(茶道) 割稽古、帛紗捌き、たたみ方 (Tea Ceremony) Warigeiko (Fundamentals), handling the cloth	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
12	(茶道) 盆略点前稽古、DVD鑑賞 (Tea Ceremony) BonryakuTemaie, watch DVD	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
13	(茶道) 盆略点前稽古 (Tea Ceremony) BonryakuTemaie	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
14	(茶道) 茶室にて足の運びにて盆略点前お客でお茶の頂き方 (Tea Ceremony) Practice	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
15	(茶道) 茶室にて足の運びにて盆略点前お客でお茶の頂き方 (Tea Ceremony) Practice	これまでの学習成果を復習する(1時間) Course self-review (1 Hour)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	20
授業への参加度など	80
その他	

教科書 Textbooks : Materials	(書道) 手本等は都度配布 Materials are provided in class.
参考文献等 References	(書道) 中教出版「書の世界」、安東聖空著「梅雪かな帖」、 榎倉香邨著「かな帖」、教育出版「書写 教師用指導書」、二玄社「中国書法選」、 長崎書道会「書道の歩み」、斉藤路石著「実用書道教範」、小野鷲堂著「かな書道」、 宮澤鷲州著「楽しめる漢字かな交じり書」、藤原宏・氷田光風編「毛筆硬筆書写字典改訂新版 講談社」 主幹 有岡シヅカ「書道研究玄筆会」江副功(景舟)著 DVD書道 Ogura, Kokkan: The Foundation of Calligraphy, Andou, Seiku: Umenoyuki Kana, Kyouiku Shuppan: Classroom Handwriting Book and others
履修の留意点 Special Notes	(茶道) 白い靴下を持って来て履き替えること。長い髪の毛は結ぶこと。 (Tea Ceremony) Bring a pair of white socks then change in the class. Long hair must be tied. 関連科目: 日本の伝統文化1・2&日本の武道 Related Courses: Traditional Japanese Arts 2, 3, and Japanese Martial Arts
連絡先 Contact	メール: ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (国際交流センター事務室) International Center Office: ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	実習・日本の伝統文化 2	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	富田 高嗣	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
		◎	○	○

履修要件 Prerequisites	特になし
科目規定 Course Description	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。
授業の概要 Contents	(華道) 500有余年の歴史をもついけばな池坊、たゆまぬ伝承と創造につらぬかれた今日のいけばな様式、立華、生花、自由花の中から自由花を指導する。 (着付) きものをたくさん見たい、触りたい、着てみたい。そして着てみたいが叶ったら、写真で残したいという憧れをできる限り叶えて、きものの文化を伝え、理解を深めていただきたい。 (かるた) 日本独特のカードゲームである「かるた」について学ぶ。まずかるた遊びを体験し、かるたの仕組みについて理解する。さらにかるたの歴史や種類について学ぶ。主に「いろはがるた」と「小倉百人一首かるた」を用いて授業を行う。
授業の目標 Learning Goals	(華道) 自由花の基礎。四季の草木の端々いいのちに触れ、花をいける喜びと感動を表現する。 (着付) 1. 日本の民族衣装「きもの」を知る 2. きものの「やくそく」を学ぶ・・・シーズンによってのちがひ/TPOによってのちがひ/男・女によってのちがひ (かるた) かるたの仕組みを理解し、学生だけでも簡単なかるた遊びができるようにする。実際のかるた遊びを通し、学生たちが互いによりコミュニケーションを深める。 C: 異文化理解のために、様々な実習を通じて、学習意欲を喚起することができる。 D: 様々な実習を通じて、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E: 様々な実習を通じて、コミュニケーション能力を養うことができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	(華道) 池坊の歴史、様式の紹介と実技(持ち帰り用の花器での指導)	学習内容の復習(1時間)
2	(華道) いけばなの基礎知識と実技(学校所定の花器)を使って花材のため方、水あげ法、道具の使い方	学習内容の復習(1時間)
3	(華道) 線的な要素を生かしての実技	学習内容の復習(1時間)
4	(華道) 面的な要素を生かしての実技	学習内容の復習(1時間)
5	(華道) 点的な要素を生かしての実技	学習内容の復習(1時間)
6	(華道) マッスの要素を生かしての実技	これまでの学習成果を復習する(1時間)
7	(かるた) 「いろはがるた」を用いて、日本独特のカードゲームである「かるた」のルールを理解する。自分たちでオリジナルかるたを作る。	オリジナルかるたを作るための筆記用具(色鉛筆・マジックなど)を用意する。(1時間)
8	(かるた) 前回の授業で作ったかるたでかるた遊びをする。かるたの歴史と多様なかるたについて学ぶ。	トランプや花札など、かるたに似ているカードゲームを探す。(1時間)
9	(かるた) 「競技かるた」を題材にしたアニメ、『ちはやふる』を鑑賞する。小倉百人一首を使った「散らし取り」をする。	指定されたホームページ…「World of Kyogi Karuta」を閲覧し、競技かるたのルールを理解する。(1時間)
10	(着付) きもののやくそく「下着やシーズンによってのきもの」	学習内容の復習(1時間)
11	(着付) 男性のきもの「ゆかたやウールのきもの、ハオリやハカマ」	学習内容の復習(1時間)

12	(着付) 女性のきもの「夏のきもの、冬のきもの」振り袖、とめそで	学習内容の復習 (1時間)
13	(着付) フォーマルなきものを着てみましょう	学習内容の復習 (1時間)
14	(着付) 自分で着てみましょう	学習内容の復習 (1時間)
15	(着付) きもので写真	これまでの学習成果を復習する (1時間)

評価方法 Grading Policy	配分 (%)
試験 (中間・期末)	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分 (%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	20
授業への参加度など	80
その他	

教科書 Textbooks : Materials	(かるた) プリントを配布する。
参考文献等 References	(かるた) 書籍 : 田辺聖子『歌がるた小倉百人一首』 (角川文庫)、末次由紀『ちはやふる』 (講談社KCBELoveコミックス) ウェブサイト : 「World of Kyogi Karuta」 http://karuta.game.coocan.jp/
履修の留意点 Special Notes	特になし
連絡先 Contact	メール : ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (国際交流センター事務室)

科目名 Course title	実習・日本の武道	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	富田 高嗣	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
		◎	○	○

履修要件 Prerequisites	特になし
科目規定 Course Description	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。
授業の概要 Contents	（合気道）合気道は単なる護身術ではありません。日本武道の一つの形、相手との一体化や相手と争わない精神がその技の根本に置かれています。「合気とは愛なり」という言葉どおり、相手と敵対するのではなく、心も体も相手にまかせることから技が生まれます。その練習の過程で、人との和というものを体感することができる武道です。 （剣道）伝統的な日本の剣道の研究。日本の武道を知り、その基本理論と概念を理解します。
授業の目標 Learning Goals	（合気道）合気道の技と心に触れます。護身術にも使える技を通して、力の抜き方、相手との合わせ方を学びます。 （剣道）日本の武道を実際に体験することにより、日本文化についての理解を深める。 C: 異文化理解のために、様々な実習を通じて、学習意欲を喚起することができる。 D: 様々な実習を通じて、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E: 様々な実習を通じて、コミュニケーション能力を養うことができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	（相撲講義）実技ではなく相撲についての解説を行う	学習内容の復習（1時間）
2	（合気道）力の抜き方を中心に合気道の基本の姿勢と動きを学ぶ	学習内容の復習（1時間）
3	（合気道）体さばきを中心に合気道の基本の動きを学ぶ	学習内容の復習（1時間）
4	（合気道）1教・2教・3教などを中心に相手の動きを押さえ込む基本技を学ぶ	学習内容の復習（1時間）
5	（合気道）合気道の代表的な投げ技を学ぶ（投げる前まで）	学習内容の復習（1時間）
6	（合気道）これまでの復習と他の様々な技を学ぶ	学習内容の復習（1時間）
7	（合気道）これまでの復習と後ろ取りの技を学ぶ	学習内容の復習（1時間）
8	（合気道）これまでのまとめと二人取りの技を学ぶ	これまでの学習成果を復習する（1時間）
9	（剣道）序論 剣道、礼法、刀	学習内容の復習（1時間）
10	（剣道）基本の足さばき、構えについて	学習内容の復習（1時間）
11	（剣道）（技・稽古）相手と共に練習	学習内容の復習（1時間）
12	（剣道）（切り返し きりかえし）相手と共に練習	学習内容の復習（1時間）
13	（剣道）DVD	剣道の紹介 生涯修行、段位について（1時間）
14	（剣道）日本剣道形	学習内容の復習（1時間）
15	（剣道）復習	これまでの学習成果を復習する（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	20
授業への参加度など	80
その他	

教科書 Textbooks : Materials	特になし
参考文献等 References	（剣道）全日本剣道連盟 (Ed.): Japanese-English Dictionary of Kendo. Tokyo 2000 Miyamoto, Musashi: The book of five rings. Shambhala 200 Takuan Soho: The Unfettered Mind. Kodansha 2003 Yamamoto, Tsunetomo: Hagakure. Kodansha 2002 Suzuki, Daisetsu: Zen and Japanese Culture. Tuttle 1988 Herrigel, Eugen: Zen in the Art of Archery. Vintage 1999 http://www.kendo.or.jp/ http://www.osi.uio.no/kendo/pdf/Noma.pdf http://www.kendo-fik.org/ http://www.kendo-fik.org/english-page/english-page2/brief-history-of-kendo.htm http://www.youtube.com/watch?v=XWzdIpayeFk http://www.youtube.com/watch?v=MXMfPPWkMVY&feature=related
履修の留意点 Special Notes	（合気道）運動ができる服装。スカート不可（受身ができる服）。手首を取る技が多いので腕時計などは授業前にははずすこと。 （剣道）服装（注意！）剣道の服装（稽古着、袴）を買う必要はありません。適当なスポーツウェアで、金属ジッパーのない厚い綿 または同類のものがよいです。すべての貴金属類を事故防止の為に外してください。手足の爪をきれいに切ること。 イヤリングとピアスは外すこと。もしそれができないならばテープでおおうことです。また腕時計、チェーン、ネックレス、その他の アクセサリーも外してください。すべて事故防止の為です。相手と共に練習しますので衛生管理にも気をつけてください。 日本人の学生は初心者であることが望ましいです。（防具着用の稽古はありません。）
連絡先 Contact	メール： ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp （国際交流センター事務局）